

Research report on a study of  
volunteers at KOBE MARATHON 2022

『第 10 回神戸マラソン』  
ボランティアに関する調査報告書

2023 年 1 月

兵庫体育・スポーツ科学学会  
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト  
『第 10 回神戸マラソンボランティア調査グループ』

神戸マラソン実行委員会事務局

# 『第 10 回神戸マラソン』ボランティアに関する調査報告書

## 概要

### 1. 目的

本調査は、「第 10 回神戸マラソン」におけるボランティア参加者の意識と活動状況を分析することを目的としている。特に、参加動機、参加の阻害要因、来年の大会へのボランティア参加意図などを中心に分析を行い、今後のボランティアマネジメントに役立つ基礎資料としたい。

### 2. 内容

- 1) 属性：性別、年齢、職業、居住地
- 2) 本大会におけるボランティア活動について：  
応募形態、担当業務、情報源、応募のきっかけ、参加動機、参加の阻害要因、ボランティア参加後の全体的な満足度
- 3) 参加意図とこれまでの活動状況：  
来年の神戸マラソンへのボランティア参加意図、これまでの神戸マラソンボランティア活動の経験、国際的スポーツイベントへのボランティア参加意図
- 4) 全体的な満足度のクロス集計結果：  
性別、年齢区分、応募形態、活動場所、参加回数、来年の神戸マラソンへのボランティア参加意図
- 5) 再参加意図のクロス集計結果：  
性別、年齢区分、応募形態、活動場所、参加回数
- 6) 参加動機と再参加意図
- 7) 参加の阻害要因と再参加意図
- 8) 満足度の理由、再参加意図の理由、コロナ禍での参加に対する意見や感想：自由記述

調 査 項 目

要因群	項目	カテゴリー
属 性	回答者の属性	1.性別 2.年齢 3.職業 4.居住地
応募形態と 担当業務	応募形態	1.個人ボランティア 2.団体ボランティア(高校) 3.団体ボランティア(大学) 4.団体ボランティア(一般) 5.オフィシャルスポンサー
	担当業務	1.コース沿道整理 2.給水・給食 3.手荷物預かり・返却 4.給水・給食サービス(スタート) 5.更衣所管理 6.インフォメーション 7.ランナーサポート 8.案内誘導 9.ランナーサービス
参加状況	情報源	1.友人 2.職場 3.学校 4.職場・学校以外の団体 5.新聞・雑誌 6.テレビ・ラジオ 7.地域の広報誌 8.ポスター・ちらし 9.神戸マラソンホームページ 10.SNS 11.その他
	応募のきっかけ	1.自分の意志 2.身近な人のすすめ 3.学校 4.学校以外の所属団体 5.その他
動 機	ボランティア参加の 動機(20項目)	1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる
障害要因	ボランティア参加の 障害要因(19項目)	1.全く妨げにならない 2.妨げならない 3.やや妨げになる 4.非常に妨げになる
満 足	全体的な満足	1.満足していない 2.あまり満足していない 3.まあ満足している 4.非常に満足している
来年の参加意図	ボランティア参加	1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない
国際的スポーツイベン トへの参加意図	ボランティア参加	1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない
これまでの参加状況	ボランティア参加	1.初めて 2.2回目 3.3回目 4.4回目 5.5回目 6.6回目 7.7回目 8.8回目 9.9回目 10.10回目
活動後の感想	1.満足度の理由 2.再参加意図の理由 3.コロナ禍の参加に 対する意見や感想	自由記述

### 3. 対象

母集団：「第10回神戸マラソン」で活動した登録ボランティア

登録ボランティア数：5,045名（エリアリーダー10名、団体ボランティア4,329名、個人ボランティア706名）

※ 上記以外にも救護ボランティア、競技役員付補助員等723名が登録。  
したがって、今大会のボランティア総数は、5,768名。

### 4. 抽出方法

本調査は、ボランティア登録者数の約10%のサンプルを算出した。そして、応募形態、担当業務それぞれを可能な限り約10%の割合で抽出し、あらかじめ配布先を決定した。ボランティア活動終了後にアンケート調査票へ記入してもらった（オフィシャルスポンサーのみ後日回収）。

### 5. 回収結果

有効回答数：478票

個人ボランティア：32票、

団体ボランティア（高校）：54票、

団体ボランティア（大学）：152票、団体ボランティア（一般）：127票

オフィシャルスポンサー：113票

### 6. 分析方法

データの分析は単純集計とクロス集計を行い、有意差検定には $\chi^2$ 検定およびF検定を実施した。

### 7. 研究組織

#### 1) 組織

兵庫体育・スポーツ科学学会 ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト

#### 2) 『神戸マラソンボランティア調査グループ』メンバー

松村浩貴、土肥隆、伊藤克広（以上：兵庫県立大学）、船越達也（福井工業大学）、  
谷めぐみ（摂南大学）、山口志郎（流通科学大学）、高松祥平（神戸親和女子大学）、  
与那覇秀勲（兵庫県立大学大学院）

#### 3) 連絡先

〒651-2197 神戸市西区学園西町8-2-1

兵庫県立大学国際商経学部 松村浩貴研究室

Phone: 078-794-7095

Fax: 078-794-7129

E-mail: kouki@em.u-hyogo.ac.jp

### 8. 調査協力

神戸マラソン実行委員会事務局

## 結果の要約

1. 性別は、女性の割合が高かった。年齢層は、10歳代～20歳代の若年層が半数強を占め、50歳以上の中高年層は2割強であった。職業は、「学生」が最も多かった。居住地は、6割強が神戸市在住で、9割以上が兵庫県在住の参加者であった。
2. 応募形態は、「団体ボランティア（大学）」が最も多く、次いで「団体ボランティア（一般）」「オフィシャルスポンサー」「団体ボランティア（高校）」「個人ボランティア」の順であった。
3. 担当業務は、「給水・給食」が最も多く、次いで「コース沿道整理」「手荷物預かり・返却」「案内誘導」の順であった。
4. 情報源は、「学校」が最も多く、次いで「職場」「職場・学校以外の団体」「友人」の順であった。情報源の割合は例年とほぼ同じで、学校や職場、団体からの情報が多くなっている。マスコミによる情報よりも、学校や職場からの呼びかけや口コミでの情報が多かった。
5. 応募のきっかけは、「自分の意志」が最も多く、次いで「学校」「身近な人」「学校以外の所属団体」の順であった。ボランティアの4割強が自発的な参加者であり、周囲からの勧めがきっかけとなり参加している人が5割強であった。
6. ボランティアの参加動機は、「日常では得られない経験ができる」が最も高く、次いで「人のために役立つ」「社会に貢献できる」「地域に貢献できる」「神戸マラソンの成功に役立つ」で高い値を示した。「非日常」「役立つ」「貢献」など、非日常の経験ができること、神戸マラソンの成功、人の役に立ちたい、社会や地域に貢献したいといった動機のもと参加している傾向が伺える。一方で、キャリアや自分を高めるといった自己啓発に基づく動機によって参加している人は少ない。
7. ボランティア参加の阻害要因は、「ボランティア以外の用事があるため」が最も高く、次いで「活動場所までの移動時間」「トイレの数」「長い活動時間」「活動場所の清潔感」「活動費の負担」であった。ボランティア以外の用事で忙しいこと、活動時間や移動時間といった時間に関すること、トイレの数、活動場所の衛生面、交通費の費用の負担などが、ボランティアの参加を妨げる要因になっている。
8. ボランティア全体を通しての満足度は、「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が9割以上であったことから、ボランティア参加者は概ね満足しているという結果であった。
9. 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図をもつ人は、約6割であった。
10. 神戸マラソンボランティア活動の経験は、初めての参加者が67.1%、複数回の参加者が32.9%であった。前回の調査と比較して、初めての参加者が増加した。
11. 国際的なスポーツイベントへのボランティア参加意図をもつ人は、約半数であった。
12. 「全体的満足のカロス集計」
  - 1) 満足と性別は、女性の方が男性よりも全体的な満足度が高かった。
  - 2) 満足と年齢区分は、高齢層よりも若年層の方が満足度が高いことが明らかになった。
  - 3) 満足と応募形態は、「団体ボランティア（大学）」と「オフィシャルスポンサー」において満足度が高いことが明らかになった。
  - 4) 満足と活動場所は、活動場所を「コース沿道」と「コース以外」に分けた場合、「コース沿

道」の方が満足度は高かった。

- 5) 満足と参加回数は、「初めて」の参加者は非常に満足している人は多いが、不満足に感じている人も多かった。「5回以上」の参加者は概ね満足している人は多いことが明らかになった。
- 6) 満足と再参加意図は、次も参加したいと考えている参加者は満足度も高く、もう参加したくないと考えている参加者は満足度も低いことが明らかになった。

#### 13. 「再参加意図のクロス集計」

- 1) 再参加意図と性別は、女性の方が再参加意図は高い傾向にあるが、統計的に有意な差がみられなかった。
- 2) 再参加意図と年齢区分は、年齢の高い層が年齢の低い層よりまた参加したいと思っている人が多いことが明らかになった。
- 3) 再参加意図と応募形態は、「団体ボランティア（一般）」「個人ボランティア」「オフィシャルスポンサー」で再参加意図をもった人が多いことが明らかとなった。一方、「団体ボランティア（高校）」は再参加意図をもった人が少ないことが示された。
- 4) 再参加意図と活動場所は、「コース沿道」と「コース以外」の活動場所による再参加意図の違いはみられなかった。
- 5) 再参加意図と参加回数は、参加回数が多くなるにつれて、再参加意図の割合が高いことが明らかになった。特に、「5回以上」の参加者の再参加意図は顕著に高く、参加回数の多い参加者は次回も参加する意志が強いことが明らかになった。

#### 14. 「参加動機と再参加意図」

次回も参加したいと思っている参加者は、どのような動機をもって参加しているのかを調べるために、動機と再参加意図を集計した。「参加したい」と「参加したくない」で、顕著な差がみられた項目は、「神戸マラソンに魅力を感じている」「神戸マラソンの成功に役立ちたい」「地域に貢献したい」「ボランティアに興味がある」「社会的視野が広がる」であった。再びボランティアに参加したいと思っている人の動機の特徴は、ボランティア自体に興味があり、地域社会に貢献したいと思っている人、また神戸マラソンに魅力を感じ、神戸マラソンの成功を願っている人が、再参加意図をもつ参加者の特徴であると思われる。

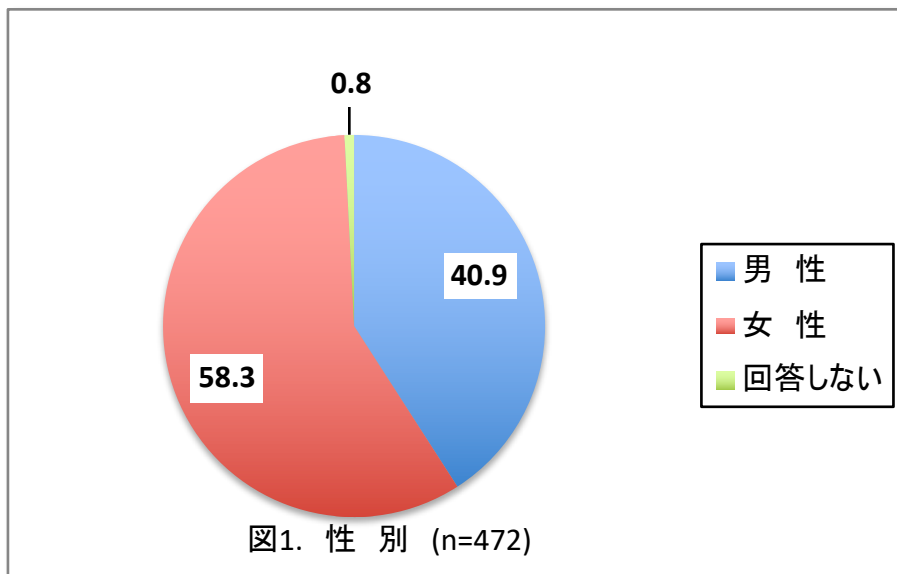
#### 15. 「阻害要因と再参加意図」

次回も参加したいと思っている人と参加したくないと思っている人が、ボランティア参加の阻害要因にどのような違いがあるのかを調べるために集計を行った。「参加したい」と「参加したくない」で顕著な差がみられた項目は、「少ない休憩時間」「ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担」「長い活動時間」「希望する活動内容との不一致」であった。参加したくない人は、活動に関すること（休憩時間・活動時間・活動内容）、活動費用などの要因が参加の妨げになっていることが明らかになった。

## 1. サンプルの属性

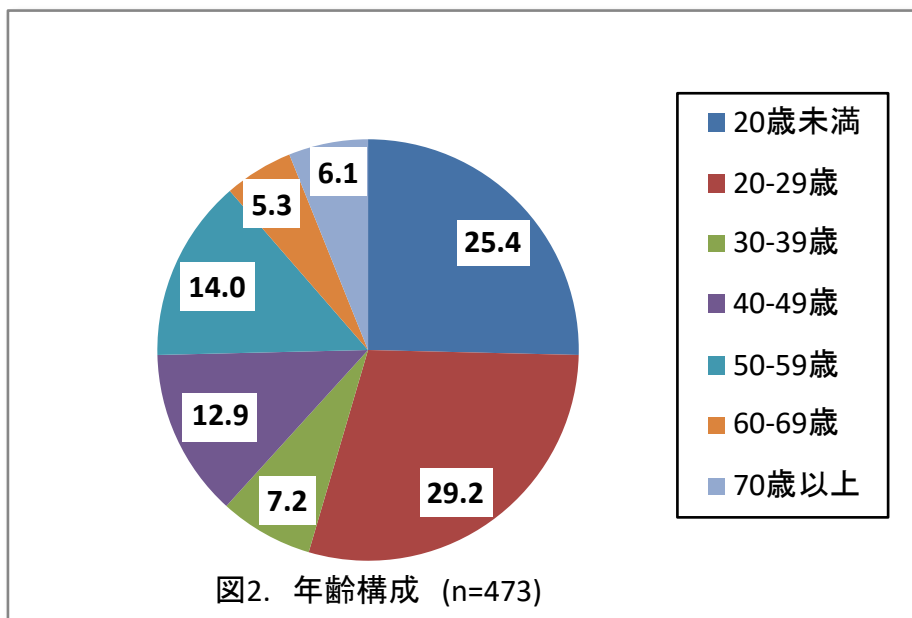
### 1) 性別

性別は、「男性」が40.9%、「女性」が58.3%であり、女性の割合が高かった（図1）。



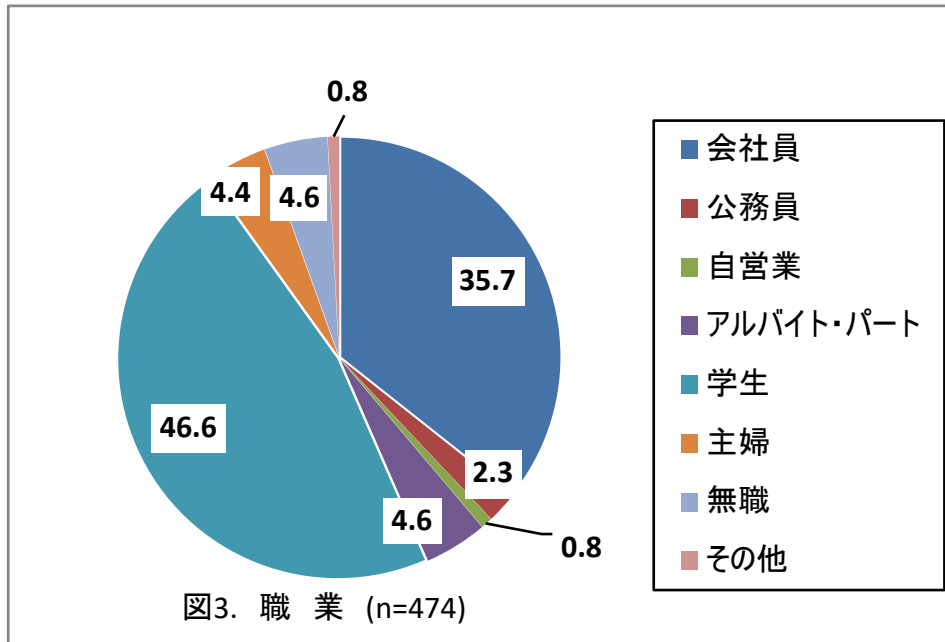
### 2) 年齢構成

年齢構成は、「20歳代」が29.2%と最も多く、次いで「20歳未満」が25.4%、「50歳代」が14.0%の順であった（図2）。また、10歳代～20歳代の若年層が5割強（54.6%）を占めていた。一方、50歳以上の中高年層は2割強（25.4%）であった。



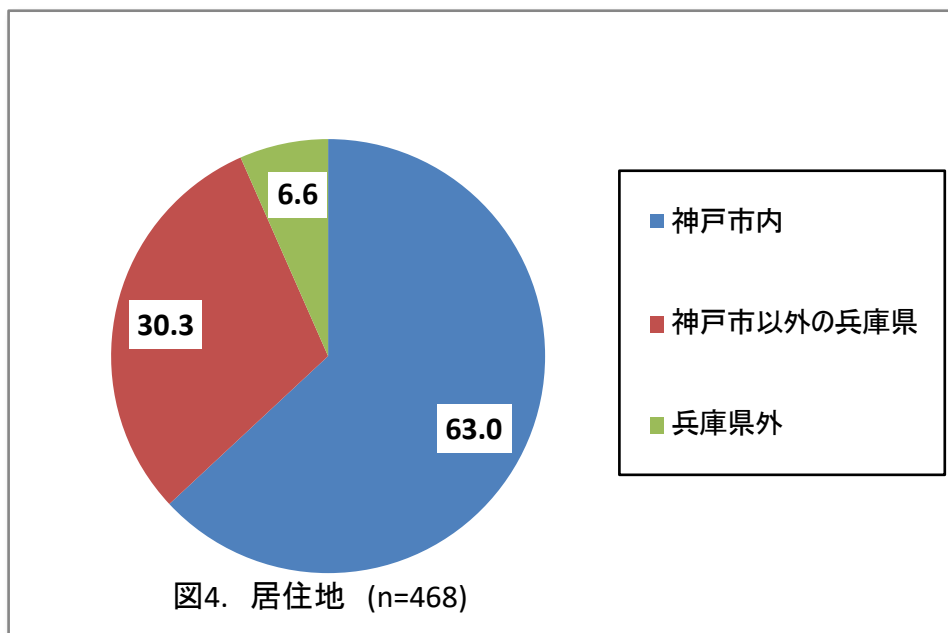
### 3) 職業

職業は、「学生」が46.6%と最も多く、次いで「会社員」が35.7%であった(図3)。高校、大学、大学院からの学生ボランティアの参加者は全体の半数近く(46.6%)を占めていた。



### 4) 居住地

居住地は、「神戸市内」が63.0%と最も多く、次いで「神戸市以外の兵庫県」が30.3%、「兵庫県外」が6.6%であった(図4)。6割強(63.0%)が神戸市在住であり、9割以上(93.3%)が兵庫県在住の参加者であった。

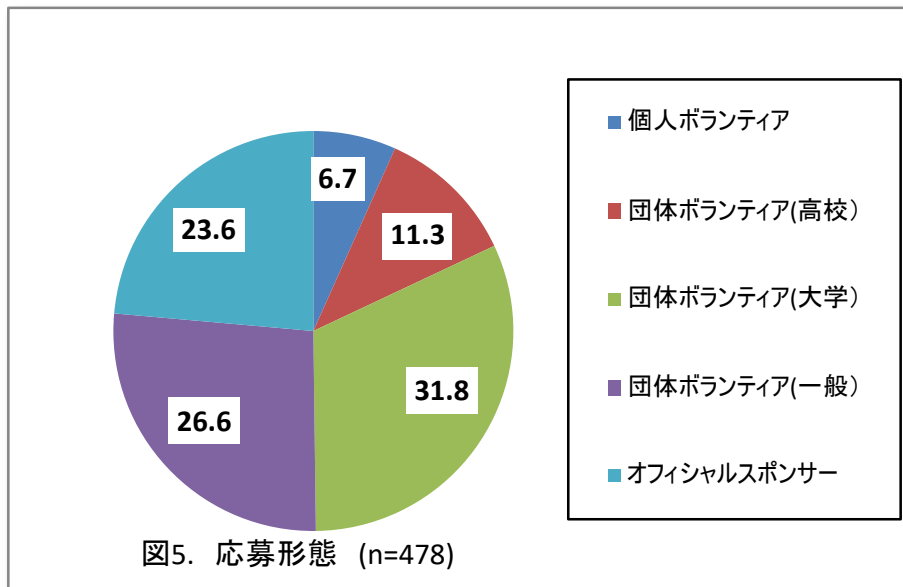




## 2. 本大会におけるボランティア活動について

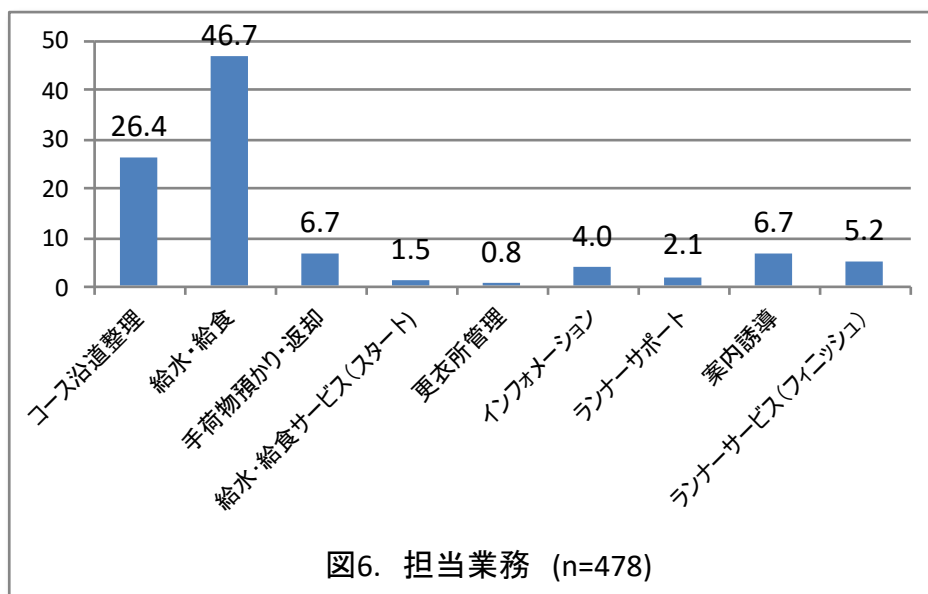
### 1) 応募形態

応募形態は、「団体ボランティア（大学）」が 31.8%と最も多く、次いで「団体ボランティア（一般）」が 26.6%、「オフィシャルスポンサー」からのボランティアが 23.6%、「団体ボランティア（高校）」が 11.3%、「個人ボランティア」が 6.7%の順であった（図 5）。



### 2) 担当業務

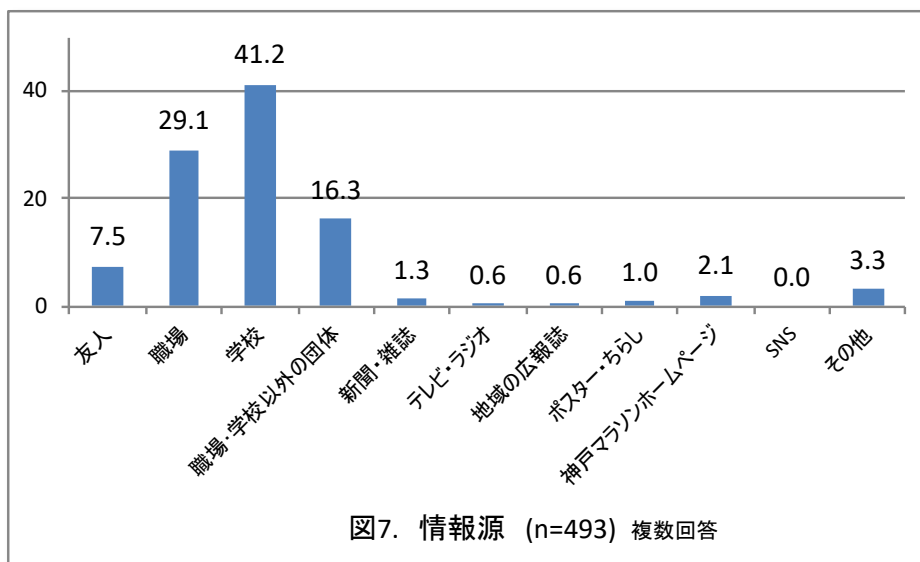
担当業務は、「給水・給食」が 46.7%と最も多く、次いで「コース沿道整理」が 26.4%、「手荷物預かり・返却」「案内誘導」が 6.7%の順であった（図 6）。マラソンボランティアの活動場所は「コース沿道での活動」と「コース以外での活動」に大別される。「コース沿道での活動」は 73.1%、「コース以外での活動」は 26.9%であり、「コース沿道での活動」の割合が多かった。



### 3) 情報源

「ボランティアの情報を何で知りましたか？」の問いに、当てはまる番号すべてに○をつけてもらった（複数回答）。「学校」が41.2%と最も多く、次いで「職場」が29.1%、「職場・学校以外の団体」が16.3%、「友人」が7.5%の順であった（図7）。

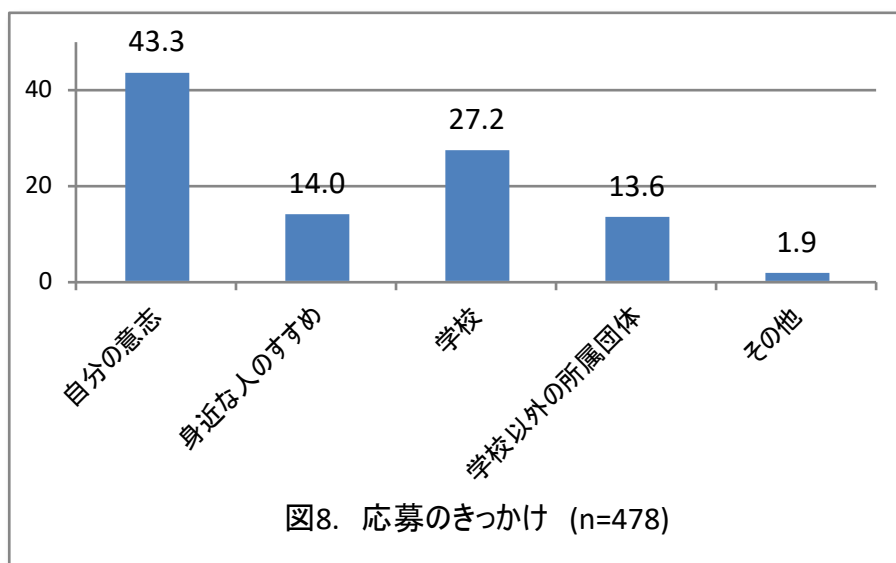
情報源の割合は例年とほぼ同じで、学校や職場、団体からの情報が多くなっている。新聞・雑誌、広報誌、テレビ・ラジオ、インターネットなどのマスコミによる情報が少なかったことから、これらのマスコミによる情報よりも、学校や職場からの呼びかけや口コミでの情報が多かったことがうかがえる。



### 4) 応募のきっかけ

「ボランティアの応募のきっかけは何ですか？」の問いに、当てはまるもの1つを回答してもらった。「自分の意志」が最も多く43.3%、次いで「学校」が27.2%、「身近な人のすすめ」が14.0%、「学校以外の所属団体」が13.6%の順であった（図8）。

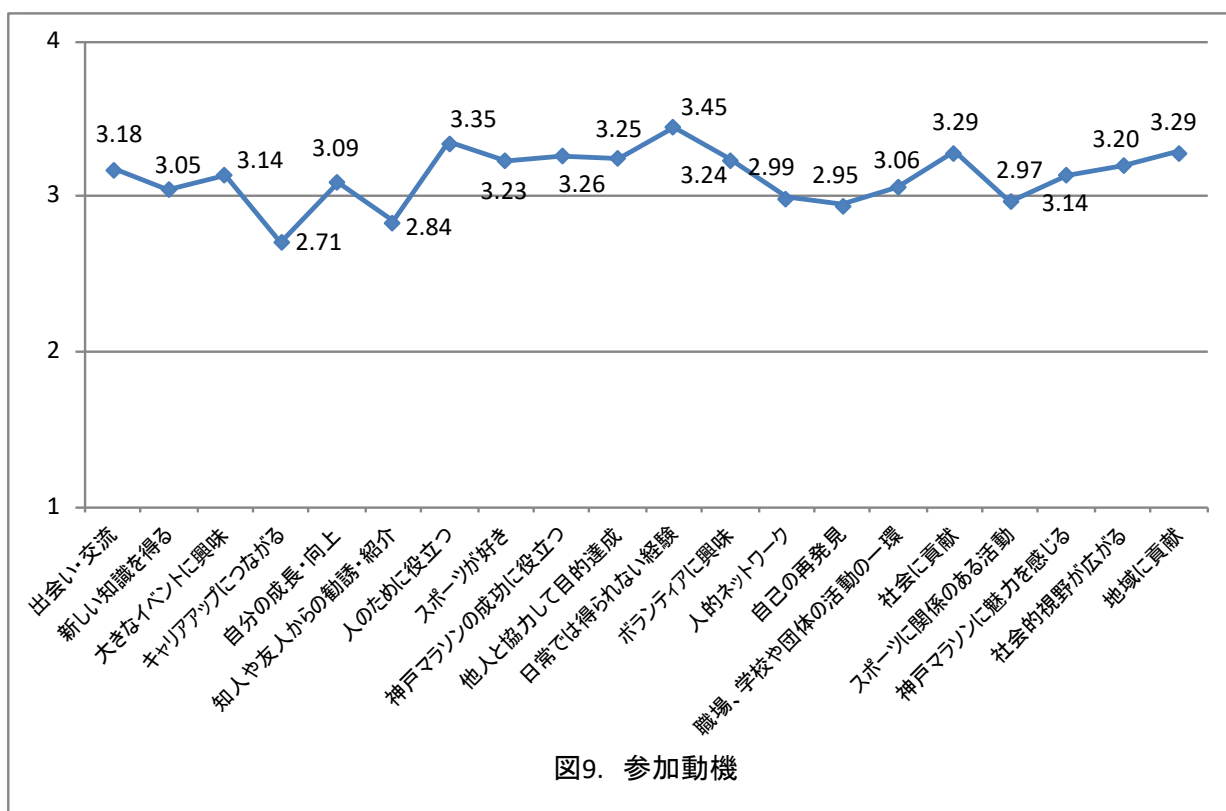
ボランティアの4割強が自発的な参加者であり、周囲からの勧めがきっかけとなり参加している人が6割弱であった。



### 5) ボランティア参加の動機

ボランティア参加の動機 20 項目を「1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の 4 つの中から回答してもらった。平均値が最も高かったのは「日常では得られない経験ができる」が 3.45 であり、次いで「人のために役立つ」が 3.35、「社会に貢献できる」「地域に貢献できる」が同値で 3.29、「神戸マラソンの成功に役立つ」が 3.26 で高い値を示した。一方、「キャリアアップにつながる」が 2.71、「知人からの勧誘・紹介」が 2.84、「自己の再発見」が 2.95 と低い値を示した（図 9）。

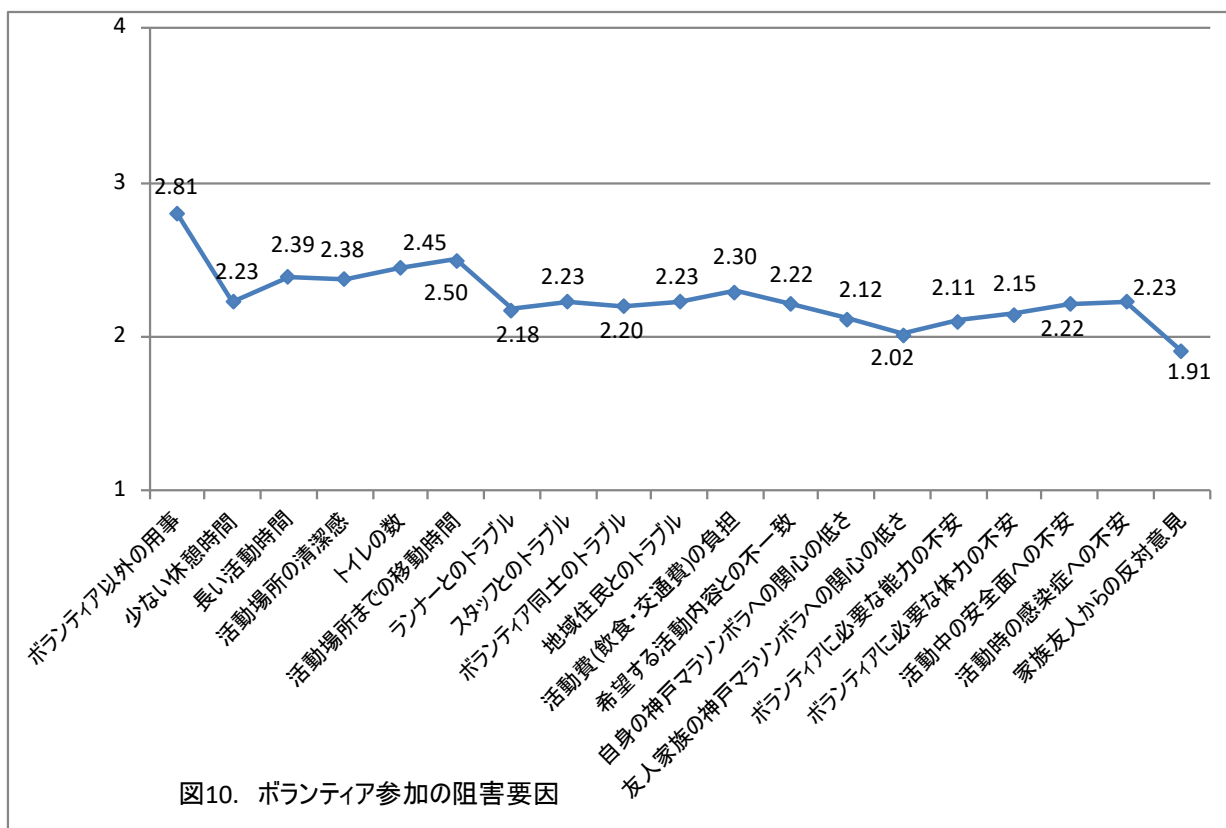
これらの結果から、参加動機のキーワードは「非日常」「役立つ」「貢献」が挙げられる。神戸マラソンのボランティア参加者は、非日常の経験ができること、神戸マラソンの成功、人の役に立ちたい、社会や地域に貢献したいという反応が高い結果となった。一方で、キャリアや自分を高める自己啓発に関する項目は低い値を示した。



## 6) ボランティア参加の阻害要因

ボランティア参加の阻害要因 19 項目について「1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の 4 つの中から回答してもらった。回答者には参加の阻害要因を「今後、神戸マラソンのボランティア参加を検討する際、以下の項目はどれくらい妨げになりますか」という尋ね方をした。その結果、平均値が最も高かったのは「ボランティア以外の用事があるため」が 2.81、次いで「活動場所までの移動時間」が 2.50、「トイレの数」が 2.45、「長い活動時間」が 2.39、「活動場所の清潔感」が 2.38「活動費の負担」が 2.30 であった。一方、「家族友人からの反対」が 1.91 で最も低い値を示した（図 10）。

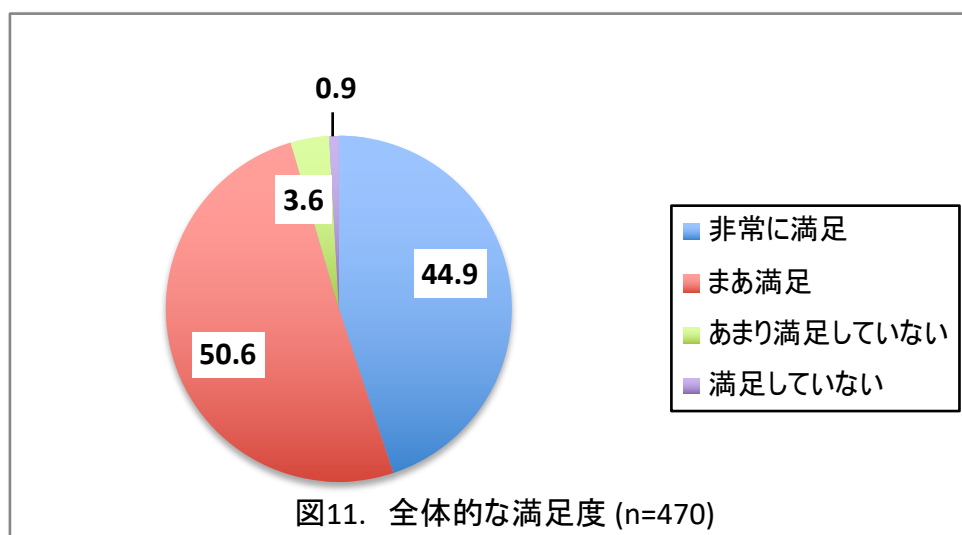
この結果から、ボランティア以外の用事で忙しいこと、移動時間や活動時間といった時間に関すること、トイレの数、活動場所の衛生面、交通費などの費用の負担などが、ボランティアの参加を妨げる要因になっていることが明らかになった。今回新たに「活動時の感染症への不安」という項目を追加した。平均値は 2.23 とそれほど高い数値ではなかったことから、ボランティアに参加するにあたり、感染症に対する不安はそこまで高くないという結果となった。



## 7) 全体的な満足度

今回のボランティア全体を通しての満足度を「非常に満足している」「まあ満足している」「あまり満足していない」「満足していない」の4つの中から回答してもらった。「非常に満足している」が44.9%、「まあ満足している」が50.6%、「あまり満足していない」が3.6%、「満足していない」が0.9%であった(図11)。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が95.5%であったことから、ボランティア参加者は概ね満足しているという結果であった。

この問いには満足度に対し、それぞれ自由記述で理由を聞く欄を設けた。「非常に満足」「まあ満足」と答えた人は、「楽しかった」「貴重な体験ができた」「ランナーや地域に貢献できた」「多くの人と交流できた」「感謝されて嬉しかった」などの意見が多かった。「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人は少数であるが、「拘束時間が長い」「休憩時間が短い」「疲れた」などの意見がみられた。

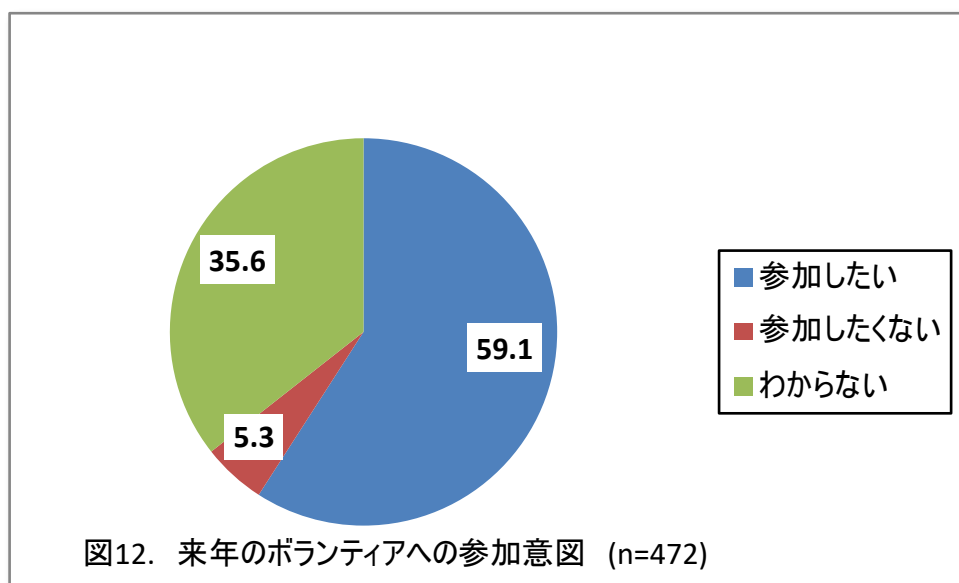


### 3. 次回大会への参加意図とこれまでの活動状況

#### 1) 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図

来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図を「1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない」の3つの中から回答してもらった。「参加したい」が59.1%、「参加したくない」が5.3%、「わからない」が35.6%であった(図12)。

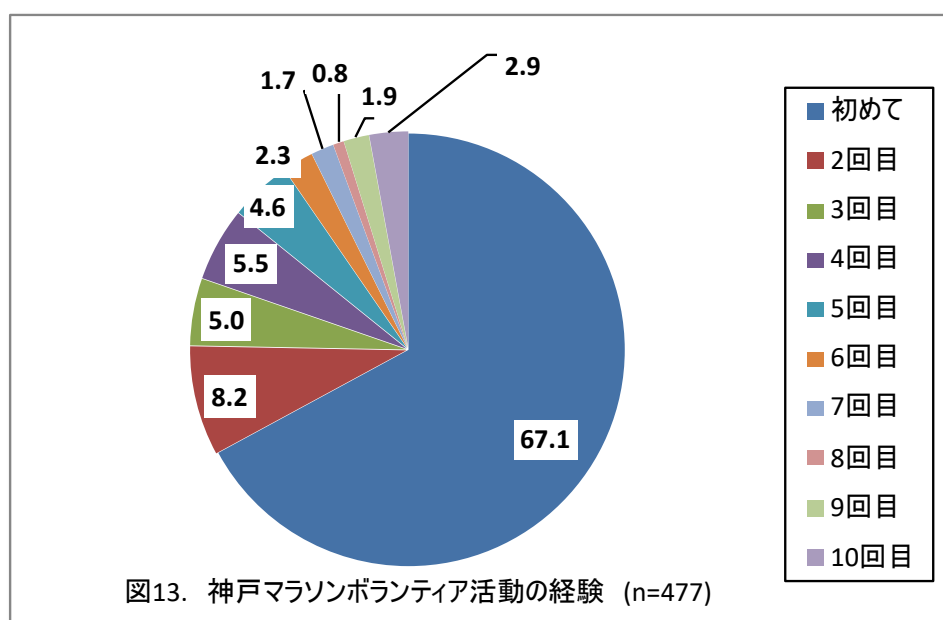
この問いには参加意図に対し、それぞれ自由記述で理由を聞く欄を設けた。「来年も参加したい」と答えた人は、「楽しかった」「充実感・達成感がある」「人の役に立てた」「地域や社会に貢献できた」「感謝されて嬉しかった」などの意見が多かった。「参加したくない」は少数であるが、「拘束時間が長い」「寒い」などの意見があった。「わからない」は「疲れた」など否定的な意見もみられたが、「来年の予定がわからない」というスケジュール面からの意見も多くみられた。



## 2) 神戸マラソンボランティア活動の経験

神戸マラソンボランティアの活動回数を「1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回目 6. 6回目 7. 7回目 8. 8回目 9. 9回目 10. 10回目」で回答してもらった。今回が初めての参加であった人が67.1%、2回目が8.2%、3回目が5.0%、4回目が5.5%、5回目が4.6%、6回目が2.3%、7回目が1.7%、8回目が0.8%、9回目が1.9%、10回目が2.9%であった（図13）。

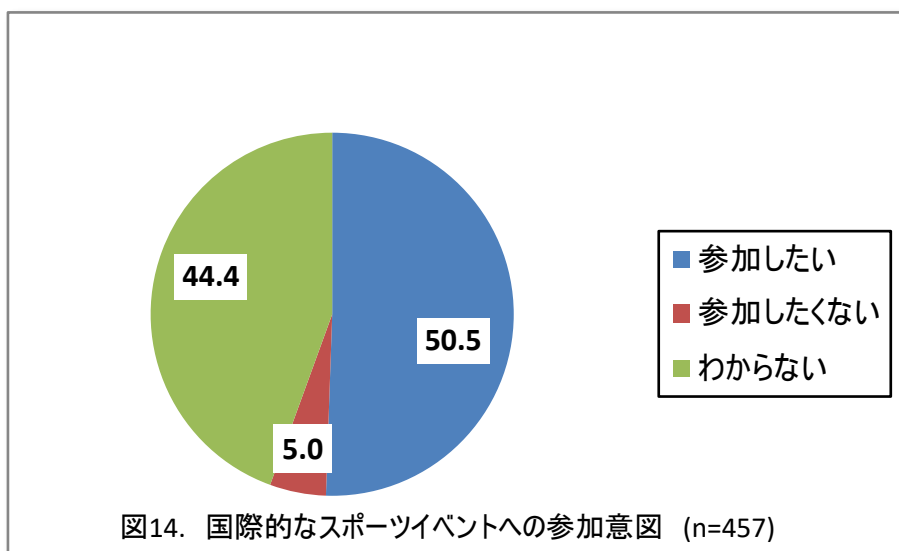
前回、前々回の調査では、複数回の参加者は全体の半数を超えていたが、今回の複数回参加者は約3割と減少した。複数回参加者は、その経験などからボランティアの質を高めることにも繋がりやすく、ボランティアマネジメントという観点からも複数回参加者の増加は重要なことだと思われる。一度経験した活動を通じてさらに継続意欲がわくようなボランティア活動となるよう内容を充実させていくことが重要である。



### 3) 国際的なスポーツイベントへの参加意図

国際的なスポーツイベントへのボランティア参加意図を「1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない」の3つの中から回答してもらった。「参加したい」が50.5%、「参加したくない」が5.0%、「わからない」が44.4%であった(図14)。

2024年に世界パラ陸上競技選手権大会が神戸市で開催されることから、このような質問項目を設けた。来年の神戸マラソンのボランティア参加意図(p.13)と比較してみると、神戸マラソンに参加したい人は59.1%であるのに対し、国際的なスポーツイベントへのボランティア参加意図は50.5%となっており、神戸マラソンよりやや少ない値であった。今後の告知やプロモーション活動を通じて、参加したいと思うような工夫が必要であると思われる。例えば、今回の調査結果によると、神戸マラソンの参加動機(p.10)において、非日常の経験ができる、大会の成功や人に役立つ、社会や地域に貢献したいという項目で高い値を示したことから、「非日常」「役立つ」「貢献」「神戸」などのキーワードを用いて参加を呼びかけると効果が得られるものと思われる。

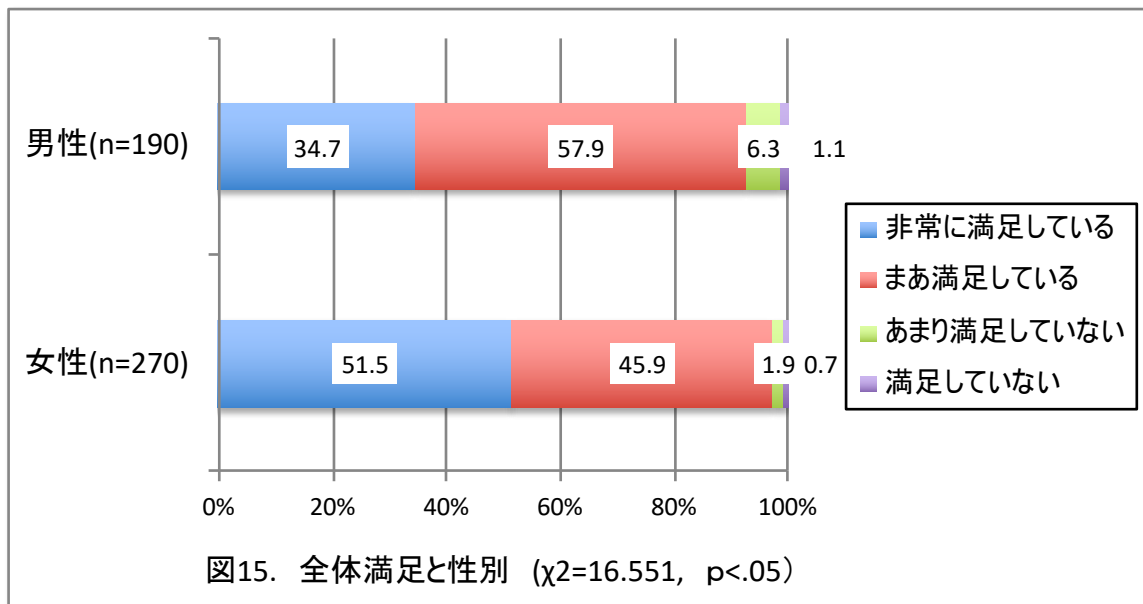




#### 4. 全体的な満足度のクロス集計結果

##### 1) 満足と性別

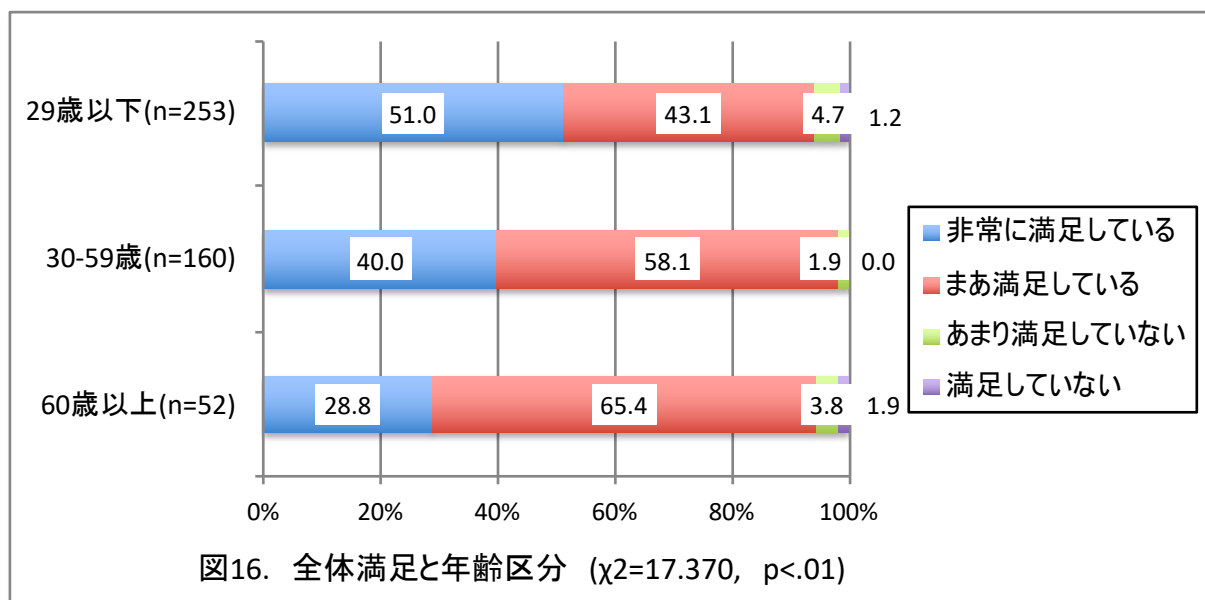
図15には、全体的な満足度を性別でクロス集計した結果を示した。その結果、「非常に満足している」は男性が34.7%であり、女性は51.5%であった。「まあ満足している」は男性が57.9%であり、女性は45.9%であった。また、「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は男性が92.6%、女性が97.4%と女性の方が高い値を示した。統計的には5%水準で有意差がみられた。このことから、全体的な満足度は男性より女性の方が高いことが明らかになった。



## 2) 満足と年齢区分

図 16 には、全体的な満足度を年齢区分でクロス集計した結果を示した。年齢区分は「29 歳以下」、「30-59 歳」、「60 歳以上」の 3 つに区分した。「29 歳以下」は 253 名、「30-59 歳」は 160 名、「60 歳以上」は 52 名であった。

その結果、「非常に満足している」は 29 歳以下が 51.0%、30-59 歳は 40.0%、60 歳以上は 28.8% で、29 歳以下が最も高く、60 歳以上が最も低かった。また、「まあ満足している」は 29 歳以下が 43.1%、30-59 歳は 58.1%、60 歳以上は 65.4% と 60 歳以上が最も高く、29 歳以下が最も低かった。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は、29 歳以下が 94.1%、30-59 歳が 98.1%、60 歳以上が 94.2% とほぼ同じような数値であった。しかし、29 歳以下の若年層は非常に満足している人が多いのに対し、60 歳以上の高齢層はまあ満足している人が多いことから、年齢区分においては、0.1%水準で有意差がみられた。このことから、全体的な満足度は高齢層よりも若年層の方が高いことが明らかになった。

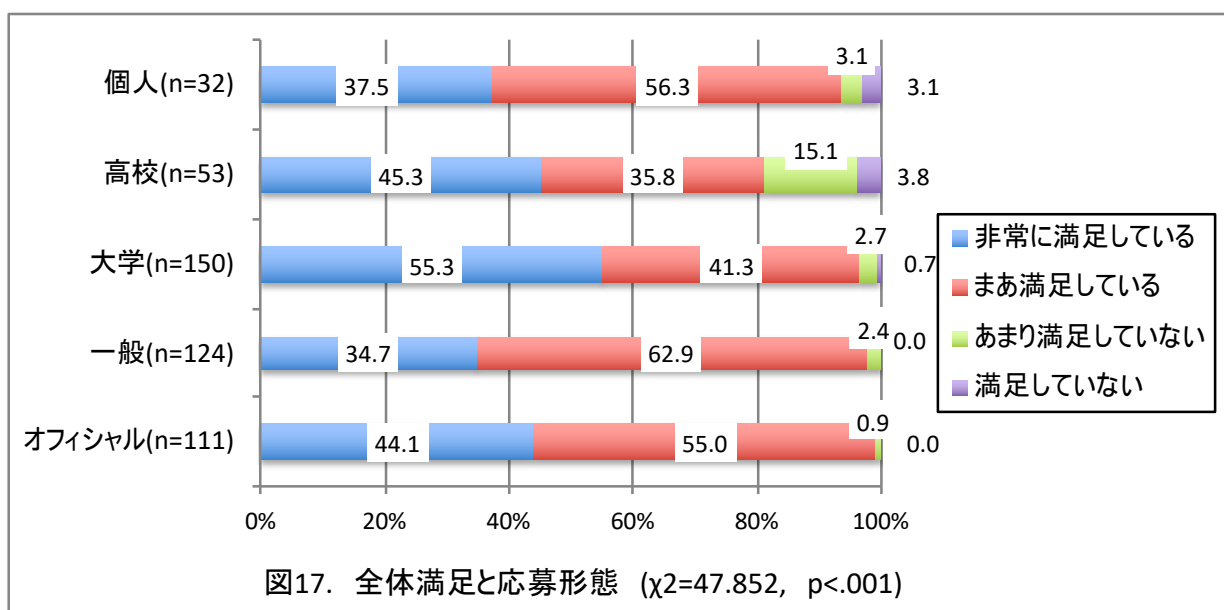


### 3) 満足と応募形態

図 17 には、全体的な満足度を応募形態でクロス集計した結果を示した。応募形態は、個人または 4 名以下のグループである「個人ボランティア」が 32 名、「団体ボランティア (高校)」が 53 名、「団体ボランティア (大学)」が 150 名、5 名以上の団体である「団体ボランティア (一般)」が 124 名、オフィシャルスポンサーからのボランティアである「オフィシャルスポンサー」が 111 名であった。

その結果、各応募形態で「非常に満足している」が高い値を示したのが、「団体ボランティア (大学)」が 55.3%、「団体ボランティア (高校)」が 45.3%、「オフィシャルスポンサー」が 44.1%であった。また、「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が高かったのは、「オフィシャルスポンサー」が 99.1%、「団体ボランティア (一般)」が 97.6%、「団体ボランティア (大学)」が 96.6%であった。一方、この値が低かったのが、「団体ボランティア (高校)」の 81.1%で、高校生の参加者は非常に満足している人も多いが、満足していない人も一定数いることがわかった。応募形態においては、0.1%水準で有意差がみられた。

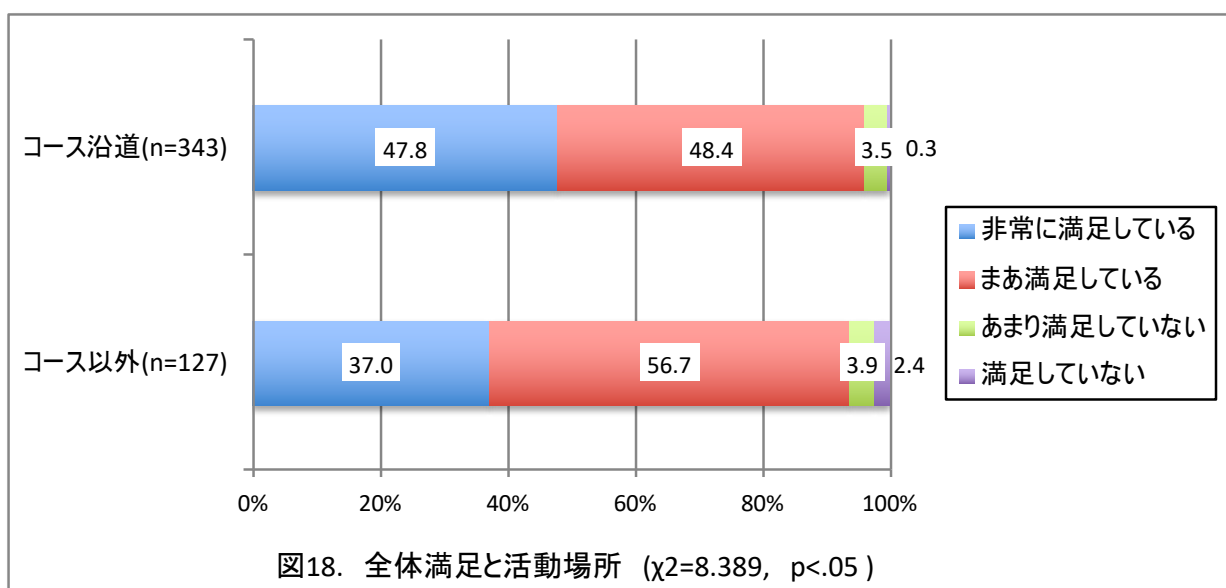
このことから、応募形態別にみると「団体ボランティア (大学)」と「オフィシャルスポンサー」において、満足度が高いことが明らかになった。



#### 4) 満足と活動場所

図 18 には、全体的な満足度を活動場所でクロス集計した結果を示した。活動場所は、担当業務の「コース沿道整理」「給水・給食」を「コース沿道」とし、残りの担当業務を「コース以外」とした。「コース沿道」は 343 名、「コース以外」は 127 名であった。

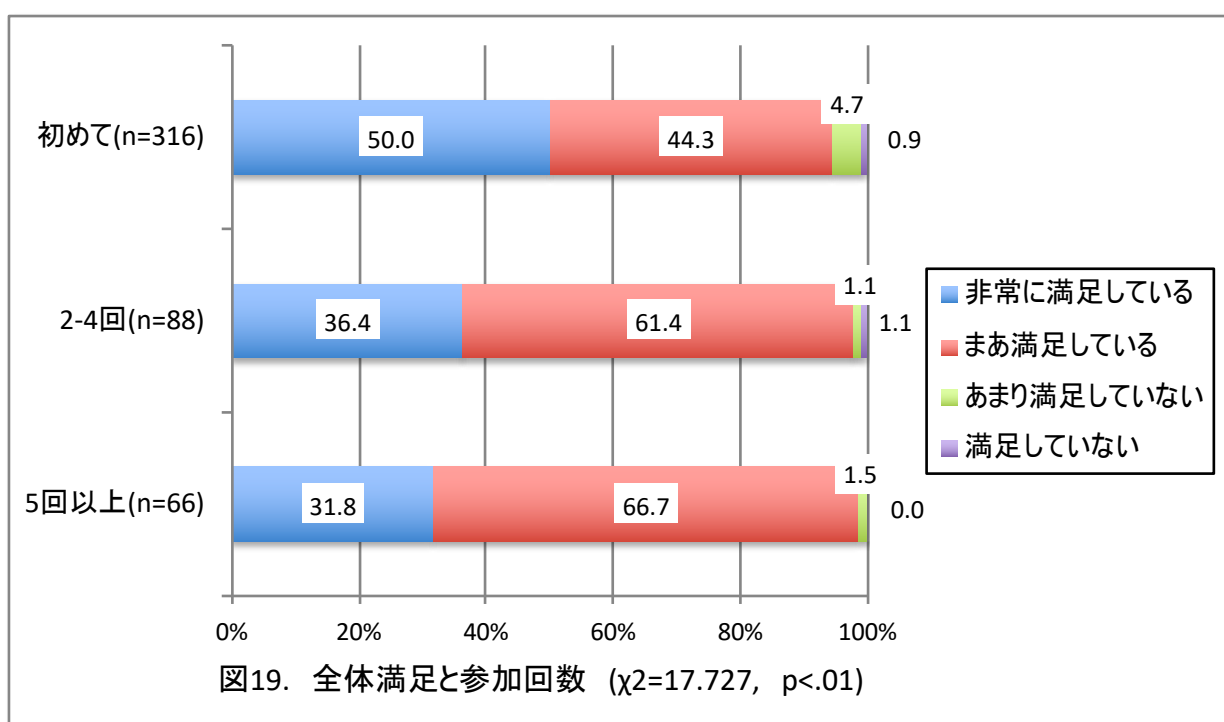
その結果、「コース沿道」の「非常に満足している」が 47.8%、「コース以外」が 37.0%であった。「コース沿道」の「まあ満足している」は 48.4%、「コース以外」は 56.7%であった。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は、「コース沿道」が 96.2%、「コース以外」が 93.7%であり、あまり差がみられなかった。しかし、コース沿道での活動の方が、非常に満足している人の割合が高かったことなどから、統計的に 5%水準で有意差がみられた。このことから、全体満足度はコース沿道の方が高いことが明らかになった。



## 5) 満足と参加回数

図 19 には、全体的な満足度を参加回数でクロス集計した結果を示した。参加回数は、ボランティア活動経験のデータをもとに、「初めて」「2-4回」「5回以上」の3つに分類した。参加回数は、「初めて」の参加者が316名、「2-4回」が88名、「5回以上」が66名であった。その結果、「初めて」の「非常に満足している」は50.0%、「2-4回」は36.4%、「5回以上」は31.8%であった。一方、「初めて」の「あまり満足していない」と「満足していない」を足した値は5.6%、「2-4回」は2.2%、「5回以上」は1.5%であった。参加回数においては、1%水準で有意差がみられた。

このことから、「初めて」の参加者は非常に満足している人は多いが、不満足に感じている人も多く、「5回以上」の参加者は非常に満足している人は少ないが、概ね満足している人は多いことが明らかになった。

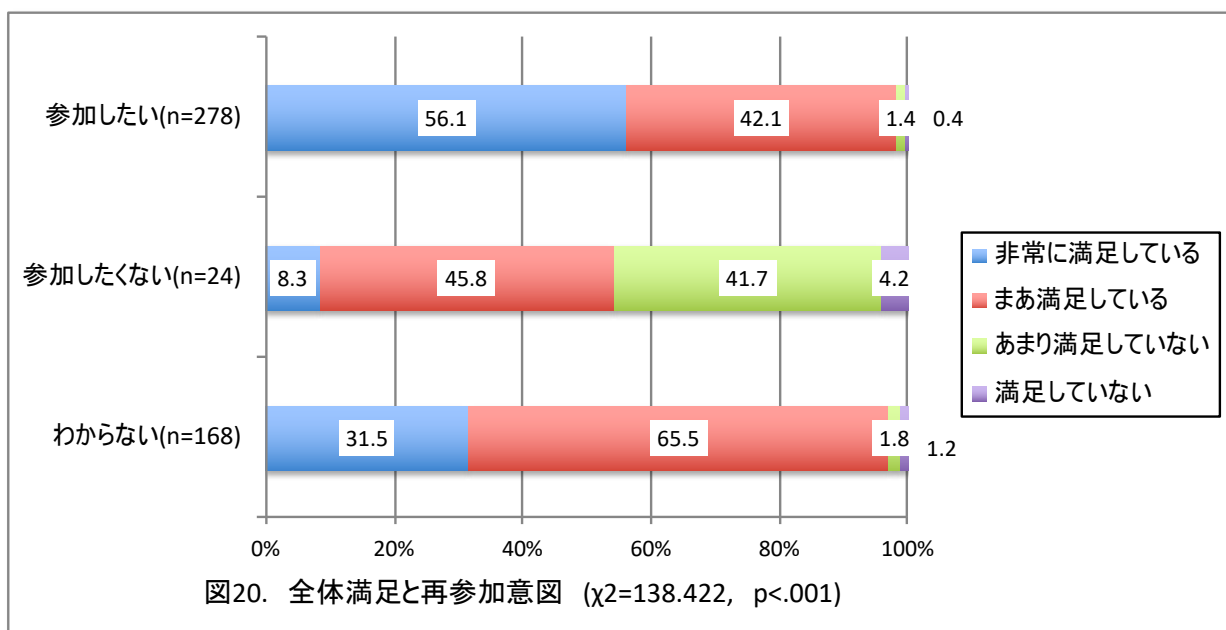


## 6) 満足と再参加意図

図 20 には、全体的な満足度を来年の再参加意図でクロス集計した結果を示した。再参加意図は、「参加したい」と回答した参加者が 278 名、「参加したくない」が 24 名、「わからない」が 168 名であった。

その結果、「参加したい」と回答した参加者の「非常に満足している」は 56.1%、「参加したくない」と回答した参加者は 8.3%、「わからない」と回答した参加者は 31.5%であった。「参加したい」と回答した参加者の「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は 98.2%、「参加したくない」と回答した参加者の「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は 54.1%、「わからない」と回答した参加者の「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は 97.0%であった。再参加意図においては、0.1%水準で有意差がみられた。

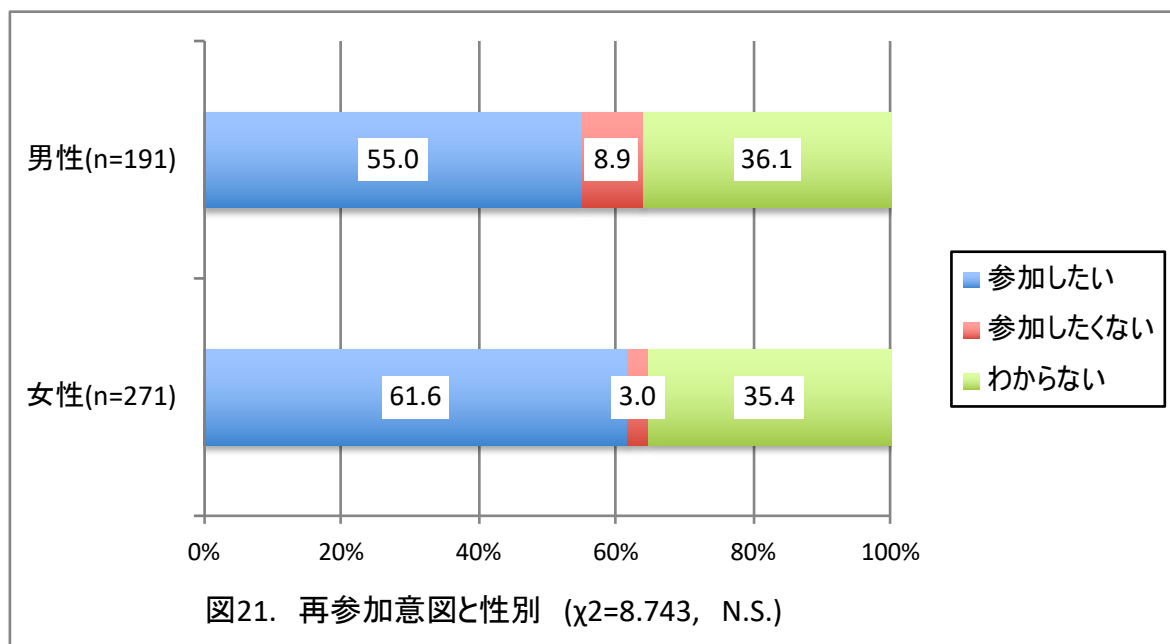
「参加したい」と回答した参加者は、満足とじている参加者が最も多く、「参加したくない」と回答した参加者は少なかった。このことから、来年も参加したいと考えている参加者の全体的な満足度は高く、一方もう参加したくないと考えている参加者の満足度は低いことが明らかになった。



## 5. 来年の再参加意図のクロス集計結果

### 1) 再参加意図と性別

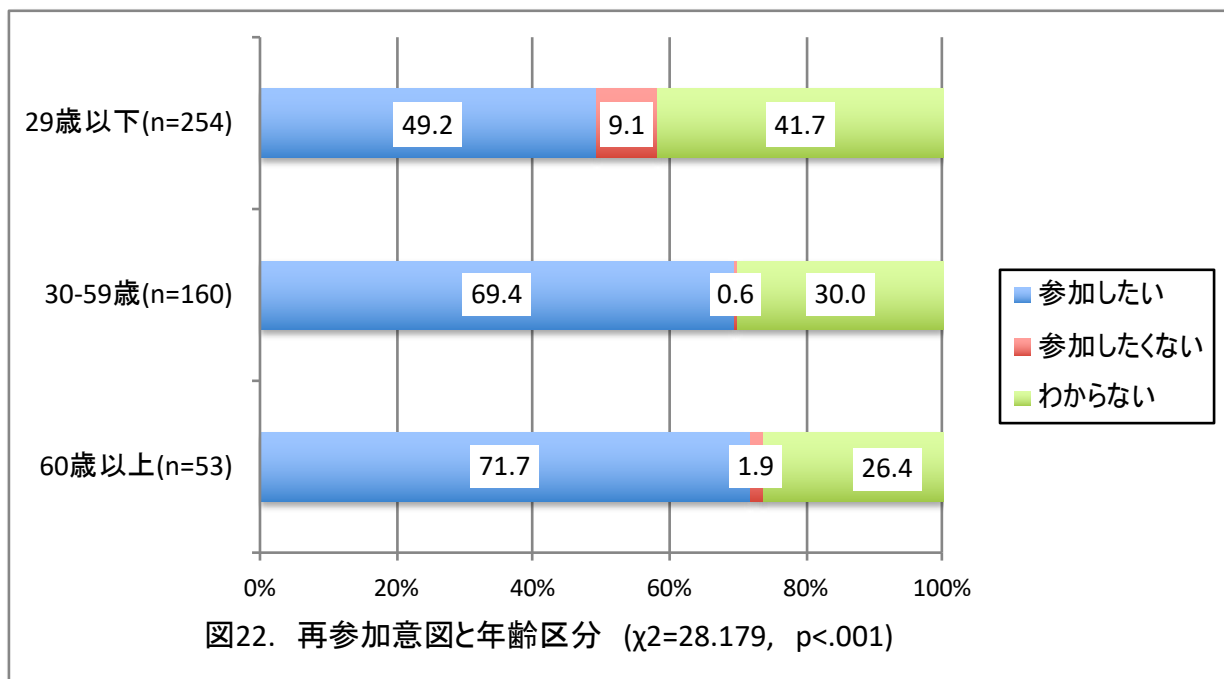
図 21 には、再参加意図を性別でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「男性」が 55.0%、「女性」が 61.6%であり、女性の方が高い値を示した。また、「参加したくない」と回答した来年の再参加意図がない人は、「男性」が 8.9%、「女性」が 3.0%であった。女性の方が再参加意図は高い傾向にあるが、統計的に有意な差がみられなかった。



## 2) 再参加意図と年齢区分

図 22 には、再参加意図を年齢区分でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「60 歳以上」が 71.7%、「30-59 歳」が 69.4%、「29 歳以下」が 49.2% であり、年齢の高い層の方が再参加意図が高かった。また、「参加したくない」と回答した来年の再参加意図のない人は、「29 歳以下」が 9.1%、「30-59 歳」が 0.6%、「60 歳以上」が 1.9% であり、29 歳以下の若年層が最も高い値を示した。年齢区分での集計では、0.1%水準で有意差がみられ、年齢の高い層が年齢の低い層よりまた参加したいと思っている人が多いことが明らかになった。

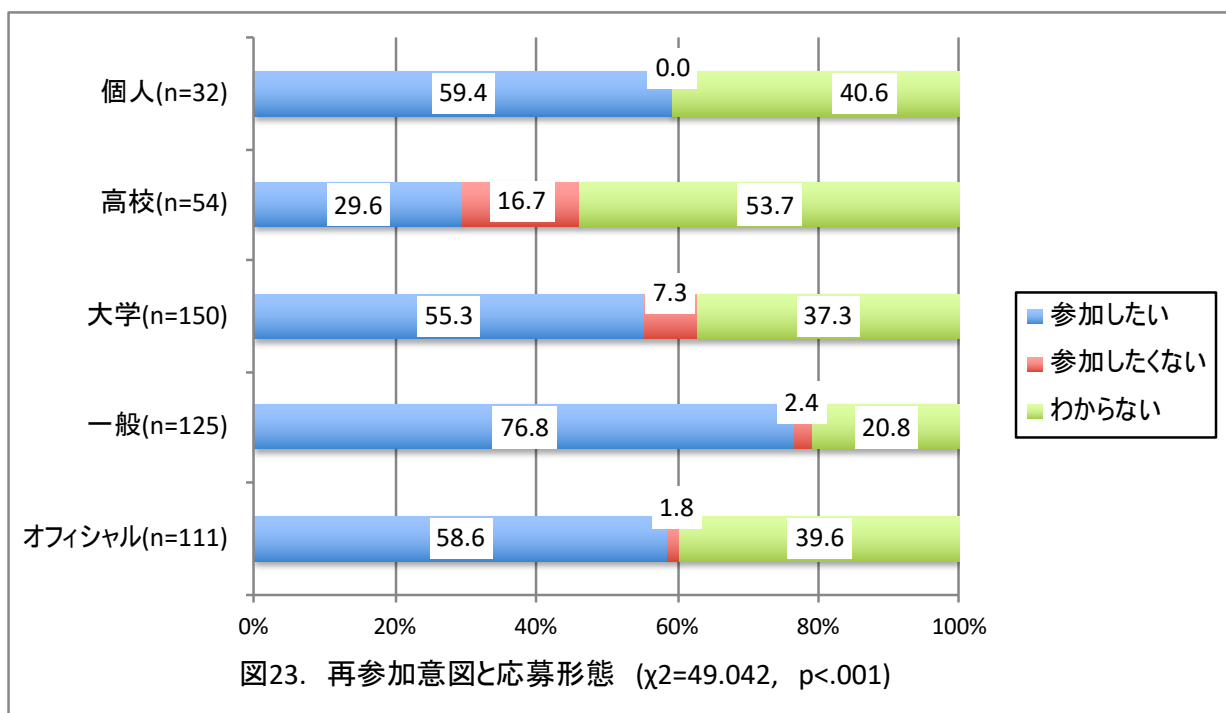
この傾向は、2019 年以前の調査でも同じようにみられた。高い年齢層の方が参加に積極的である傾向は、マラソンボランティアの特徴である可能性が考えられる。





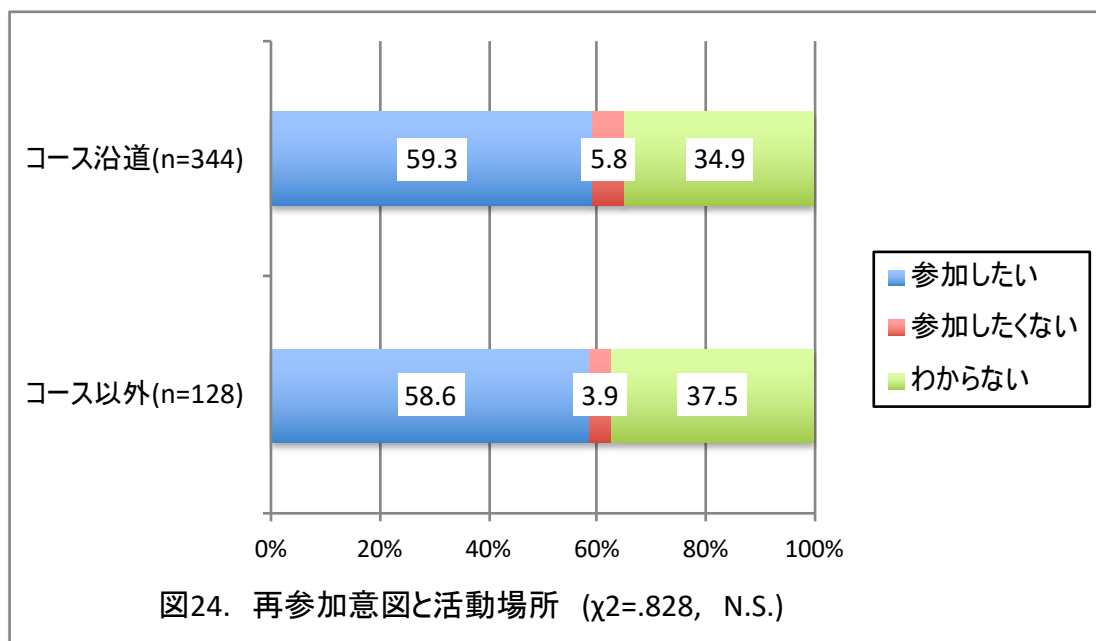
### 3) 再参加意図と応募形態

図 23 には、再参加意図を応募形態でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「団体ボランティア（一般）」が 76.8%と最も多く、次いで「個人ボランティア」が 59.4%、「オフィシャルスポンサー」が 58.6%であった。また、「参加したくない」と回答した再参加意図のない人は、「団体ボランティア（高校）」が 16.7%と最も高い値を示し、次いで「団体ボランティア（大学）」が 7.3%であった。応募形態での集計においては、0.1%水準で有意差がみられ、「団体ボランティア（一般）」「個人ボランティア」「オフィシャルスポンサー」で再参加意図をもった人が多く、一方、「団体ボランティア（高校）」は再参加意図をもった人が少ないことが明らかになった。



#### 4) 再参加意図と活動場所

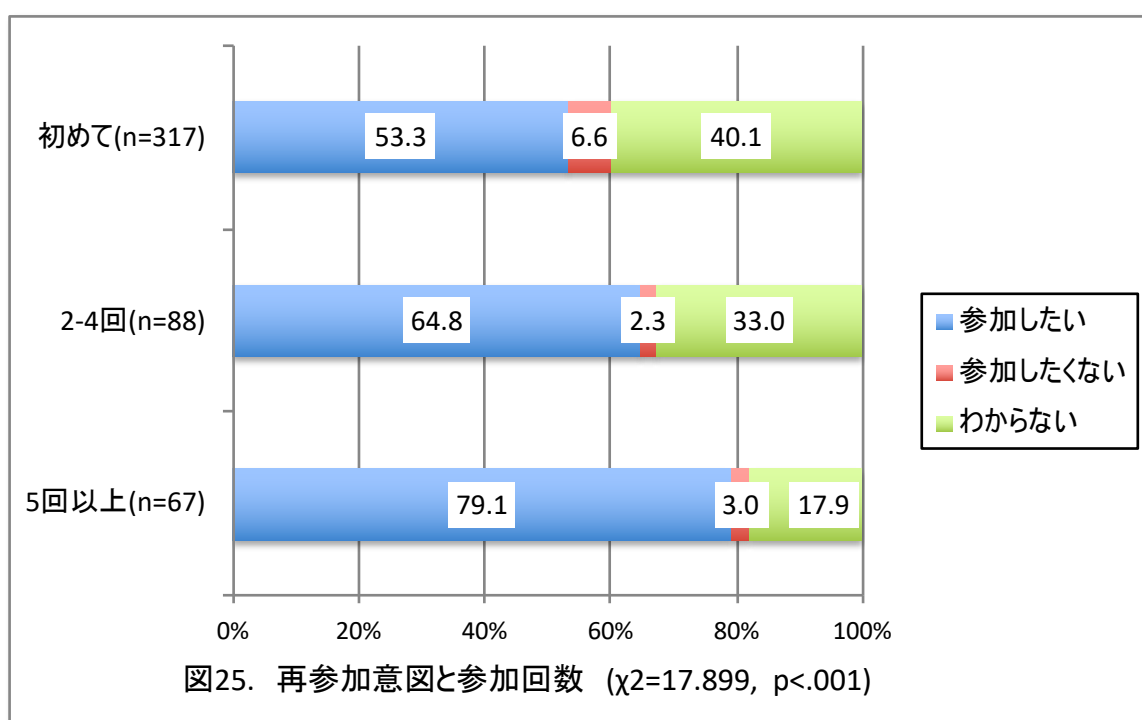
図 24 には、再参加意図を活動場所でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「コース沿道」が 59.3%、「コース以外」が 58.6%であった。「参加したくない」と回答した来年の再参加意図のない人は、「コース沿道」が 5.8%、「コース以外」が 3.9%であった。「わからない」と回答した参加意図を保留している人は「コース沿道」が 34.9%、「コース以外」が 37.5%であった。活動場所の集計では、統計的に有意な差がみられなかった。「コース沿道」と「コース以外」の活動場所による再参加意図の違いはみられなかった。



### 5) 再参加意図と参加回数

図 25 には、再参加意図を参加回数でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年も再参加意図のある人は、「初めて」の参加者が 53.3%、「2-4 回」の参加者が 64.8%、「5 回以上」の参加者が 79.1%となっており、「5 回以上」の参加者は再参加意図をもつ割合が高い値を示した。また、「参加したくない」と回答した再参加意図のない人は、「初めて」の参加者が 6.6%、「2-4 回」の参加者が 2.3%、「5 回以上」の参加者が 3.0%となっており、「初めて」の参加者が最も高い値を示した。参加回数においては、0.1%水準で有意差がみられた。

これらの結果より、参加回数が多くなるにつれて、再参加意図の割合が高いことが明らかになった。特に、「5 回以上」の参加者の再参加意図は顕著に高く、参加回数の多い参加者は次回も参加する意志が強いことが明らかになった。



## 6. 参加動機と再参加意図

次回も参加したいと思っている参加者は、どのような動機をもって参加しているのかを調べるために、動機と再参加意図で分散分析を行った（表1）。その結果、20項目中17項目において有意差がみられ、ほとんどの項目で「参加したい」が最も高い値を示し、「参加したくない」が最も低い値を示した。有意差がみられた項目の中でも、F値の大きさから顕著な差がみられた項目を赤字で示した。赤字で示した項目をF値の大きかった順に列挙すると、「神戸マラソンに魅力を感じている」「神戸マラソンの成功に役立ちたい」「地域に貢献したい」「ボランティアに興味がある」「社会的視野が広がる」であった。このように、再びボランティアに参加したいと思っている人の動機の特徴は、「神戸マラソン」「地域への貢献」「ボランティアや社会的視野への興味」がキーワードとして挙げられる。ボランティア自体に興味があり、地域社会に貢献したいと思っている人、また神戸マラソンに魅力を感じ、神戸マラソンの成功を願っている人が、再参加意図をもつ参加者の特徴であると思われる。

表1. 参加動機と再参加意図

	参加したい	参加したくない	わからない	F-value	
人との出会い・交流	3.32	2.52	3.04	17.62	***
新しい知識を得る	3.16	2.44	2.93	13.05	***
大きなイベントに興味	3.30	2.56	2.96	17.67	***
今後のキャリアアップにつながる	2.72	2.48	2.71	0.70	
自分が成長・向上	3.24	2.60	2.91	13.70	***
知人や友人からの勧誘・紹介	2.84	2.48	2.87	1.48	
人のために役立つ	3.49	2.96	3.20	17.32	***
スポーツが好き	3.31	3.28	3.08	4.22	*
<b>神戸マラソンの成功に役立つ</b>	<b>3.44</b>	<b>2.52</b>	<b>3.08</b>	<b>31.09</b>	<b>***</b>
他人と協力して目的を達成	3.41	2.64	3.08	21.57	***
日常では得られない経験	3.57	2.84	3.35	19.39	***
<b>ボランティアに興味</b>	<b>3.41</b>	<b>2.52</b>	<b>3.09</b>	<b>24.78</b>	<b>***</b>
人的ネットワーク	3.09	2.52	2.92	7.30	***
自己の再発見	3.11	2.28	2.78	17.32	***
職場、学校や団体の活動の一環	3.05	3.04	3.05	0.01	
社会に貢献	3.41	2.96	3.14	10.83	***
スポーツに関係ある活動	3.09	2.84	2.78	6.68	***
<b>神戸マラソンに魅力</b>	<b>3.37</b>	<b>2.44</b>	<b>2.86</b>	<b>39.29</b>	<b>***</b>
<b>社会的視野が広がる</b>	<b>3.36</b>	<b>2.56</b>	<b>3.02</b>	<b>22.26</b>	<b>***</b>
<b>地域に貢献</b>	<b>3.46</b>	<b>2.64</b>	<b>3.10</b>	<b>27.87</b>	<b>***</b>

\*:p<.05, \*\*\*:p<.001

## 7. 参加の阻害要因と再参加意図

次回も参加したいと思っている人と参加したくないと思っている人が、ボランティア参加の阻害要因にどのような違いがあるのかを調べるために分散分析を行った（表2）。すべての項目で「参加したくない」が「参加したい」よりも高い値を示し、19項目中12項目で有意差がみられた。

有意差がみられた項目の中でも、F値の大きさから顕著な差がみられた項目を赤字で示した。赤字で示した項目をF値の大きかった順に列挙すると、「少ない休憩時間」「ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担」「長い活動時間」「希望する活動内容との不一致」であった。参加したくない人は、活動に関すること（休憩時間・活動時間・活動内容）、活動費用などの要因が参加の妨げになっていることが明らかになった。

表2. ボランティア参加の阻害要因と再参加意図

	参加したい	参加したくない	わからない	F-value	
ボランティア以外の用事	2.68	2.88	3.01	6.46	***
<b>少ない休憩時間</b>	<b>2.08</b>	<b>2.72</b>	<b>2.42</b>	<b>13.73</b>	<b>***</b>
<b>長い活動時間</b>	<b>2.25</b>	<b>2.72</b>	<b>2.57</b>	<b>9.34</b>	<b>***</b>
活動場所の清潔感	2.29	2.67	2.49	4.50	*
トイレの数	2.36	2.84	2.54	5.07	***
活動場所までの移動時間	2.41	2.56	2.65	4.02	*
ランナーとのトラブル	2.12	2.24	2.29	1.43	
スタッフとのトラブル	2.15	2.48	2.33	2.32	
ボランティア同士のトラブル	2.15	2.20	2.30	1.17	
地域住民とのトラブル	2.19	2.20	2.31	0.69	
<b>ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担</b>	<b>2.16</b>	<b>2.88</b>	<b>2.45</b>	<b>10.45</b>	<b>***</b>
<b>希望する活動内容との不一致</b>	<b>2.09</b>	<b>2.52</b>	<b>2.39</b>	<b>7.91</b>	<b>***</b>
自身の神戸マラソンボラへの関心の低さ	2.04	2.36	2.21	3.24	*
友人・家族の神戸マラソンボラへの関心の低さ	1.95	2.32	2.10	3.39	*
ボランティアに必要な能力への不安	2.06	2.32	2.18	2.19	
ボランティアに必要な体力への不安	2.07	2.24	2.29	4.29	*
活動時における安全面への不安	2.12	2.36	2.36	4.69	*
活動時における感染症への不安	2.16	2.32	2.32	2.03	
家族・友人からのボラ参加に対する反対意見	1.86	2.16	1.96	2.03	

\*:p<.05, \*\*\*:p<.001

## 8. 「ボランティア活動を終えての感想」(自由記述)

### 1) 満足度の理由

#### 団体ボランティア(個人)

##### ○ 満足群

###### 楽しかった

- ・ 楽しく活動できた。(10歳代、女性)ほか3名

###### 充実感・達成感

- ・ やりがいが感じられた。(10歳代、女性)

###### 貴重な体験

- ・ 新鮮な体験ができた。(30歳代、男性)
- ・ なかなかできない体験ができた。(10歳代、女性)ほか3名

###### 協力・交流

- ・ 他のボランティアとの交流もスムーズで、ランナーとの交流も楽しめた。(30歳代、男性)
- ・ 他人と協力していい仕事できた。(10歳代、女性)ほか1名

###### 感動・感謝

- ・ 給水で挨拶をしたら返してくれて嬉しかった。(10歳代、女性)ほか1名

###### スタッフ・リーダー

- ・ 事前説明が分かりやすかった。(50歳代、女性)

##### ● 不満足群

###### 運営

- ・ 集合場所、待機場所が分かりづらかった。(40歳代、女性)
- ・ 事前にボランティアの内容を詳しく教えてほしかった。(60歳代、男性)

###### トイレ・ゴミ箱等

- ・ トイレの数が少なかった。(60歳代、男性)

###### その他

- ・ 通訳として応募したが、海外ランナーがいなかった。(20歳代、男性)

## 団体ボランティア（高校）

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。（10 歳代、男性） ほか 8 名
- ・ 友達と一緒にボランティアができて楽しかった。（10 歳代、男性）

#### 充実感・達成感

- ・ しっかり応援できた。（10 歳代、男性）
- ・ 疲れたけど、やりがいがあった。（10 歳代、男性）

#### 貴重な経験

- ・ 初めての経験ができた。（10 歳代、男性） ほか 10 名
- ・ 新しい地域の発見があった。（10 歳代、女性）

#### 貢献

- ・ 人の役に立てた。（10 歳代、女性） ほか 3 名
- ・ フルマラソンに関係することができた。（10 歳代、男性）

#### 協力・交流

- ・ たくさんの人と関われた。（10 歳代、女性） ほか 3 名
- ・ いろいろな人と交流できた。（10 歳代、男性） ほか 3 名

#### 感動・感謝

- ・ 応援に対して感謝の言葉をもらえた。（10 歳代、女性） ほか 4 名
- ・ 人にありがとうと言われて嬉しかった。（10 歳代、女性）

### ● 不満足群

#### 運営

- ・ 時間が長い。（10 歳代、男性）
- ・ 疲れた。（10 歳代、男性）
- ・ 特に楽しくも面白くもない。（10 歳代、男性）
- ・ あまり働けなかった。（10 歳代、男性）

#### その他

- ・ 強制参加だった。（10 歳代、男性）

## 団体ボランティア（大学）

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。(20 歳代、女性) ほか 12 名
- ・ ランナーを応援するのが楽しかった。(20 歳代、女性)

#### 充実感・達成感

- ・ 達成感のある活動だった。(20 歳代、女性) ほか 5 名
- ・ やりがいがあった。(20 歳代、男性) ほか 2 名
- ・ ランナーと一つになれた気がした。(20 歳代、男性) ほか 2 名
- ・ ランナーが笑顔になってくれた。(20 歳代、女性)
- ・ やりがいがあった。(20 歳代、男性) ほか 2 名
- ・ 会話が温かかった。(20 歳代、女性)
- ・ やりきれた。(20 歳代、男性)

#### 貴重な経験

- ・ 普段できない経験ができた。(10 歳代、女性) ほか 8 名
- ・ いろいろ勉強できた。(20 歳代、女性)
- ・ 神戸マラソンについて知ることができた。(10 歳代、女性)

#### 元気をもらう

- ・ 自分たちが元気をもらえた。(10 歳代、女性) ほか 5 名
- ・ ランナーから勇気をもらえた。(20 歳代、女性)

#### 貢献

- ・ 人の役に立てた。(10 歳代、女性) ほか 3 名
- ・ 社会に貢献できた。(20 歳代、男性)

#### 協力・交流

- ・ いろいろな人と交流できた。(10 歳代、女性) ほか 10 名
- ・ 普段できない多くの人と接することができた。(20 歳代、女性)
- ・ ランナーの方々とコミュニケーションがとれた。(20 歳代、女性)
- ・ みんなで協力できた。(20 歳代、女性)

#### 感動・感謝

- ・ ありがとうが嬉しかった。(20 歳代、女性) ほか 5 名
- ・ ランナーの頑張りに感動し、勇気をもらえた。(20 歳代、女性)



スタッフ・リーダー

- ・ 丁寧に教えてくれた。(10 歳代、回答なし)

その他

- ・ ランチパックの配布があった。(10 歳代、女性) ほか 3 名

●**不満足群**

運営

- ・ 休憩した人としていない人との差が大きい。(10 歳代、回答なし)
- ・ 休憩時間が少なかった。(10 歳代、女性)
- ・ 上からの指示が悪く、連携が取れていない。(10 歳代、女性)

その他

- ・ 交通費など金銭がかかる。(20 歳代、女性)

## 団体ボランティア（一般）

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。（70 歳以上、女性） ほか 8 名
- ・ 最高だった。（50 歳代、男性）
- ・ ランナーを近くで応援できて楽しかった。（50 歳代、女性）

#### 充実感・達成感

- ・ やりがいがあった。（70 歳以上、女性） ほか 1 名
- ・ 有意義な時間が過ごせた。（70 歳以上、女性）
- ・ 友達と一緒に達成感が得られた。（60 歳代、女性）

#### 貴重な体験

- ・ なかなかできない体験ができた。（50 歳代、男性）
- ・ 初体験で学びが多かった。（40 歳代、女性）
- ・ ランナーを生で見られた。（30 歳代、女性）
- ・ 自己を見直すことができた。（40 歳代、女性）

#### 貢献

- ・ ランナーの役に立った。（60 歳代、男性） ほか 1 名
- ・ 地域の役に立てた。（10 歳代、男性）
- ・ イベントに貢献できた。（60 歳代、男性）

#### 協力・交流

- ・ 他のメンバーと共に活動できた。（50 歳代、男性）

#### 感動・感謝

- ・ 頑張っている人を見て感動した。（30 歳代、女性）
- ・ ランナーから感謝されて嬉しかった。（60 歳代、女性）
- ・ ありがとうをたくさん言ってもらえた。（20 歳代、男性） ほか 1 名

#### スタッフ・リーダー

- ・ 事前の打ち合わせがしっかりなされていた。（10 歳代、男性）
- ・ 役割分担が明確であった。（30 歳代、男性）

### その他

- ・ 神戸の魅力を発信できた。(70歳以上、男性)
- ・ 家が近い。(50歳代、男性)
- ・ やる気のある人が多かった。(70歳以上、男性)

## ● 不満足群

### 運営

- ・ 指示が曖昧でランナーへ確実な案内ができなかった。(20歳代、女性)
- ・ 市のスタッフと連携が取れなかった。(60歳代、女性)
- ・ スタートの誘導時間がギリギリで対応がわからない。(20歳代、女性)
- ・ 5.1km 給水担当。進行方向の左側にランナーがかたよっている。第1回から同じ。4.8km くらいで流れを等分にするよう整流をお願いしたい。(50歳代、男性)
- ・ 総合案内所の場所が分かりづらい。(50歳代、女性)

### トイレ・ゴミ箱等

- ・ ゴミが多い。(50歳代、男性)
- ・ ゴミの回収が間に合っていない。(20歳代、女性)
- ・ トイレの並び方が整っていない。(50歳代、女性)

### スタッフ・リーダー

- ・ スタッフへの指示がいまひとつ。(70歳以上、男性)

### その他

- ・ もう少し応援したかった。(40歳代、女性)

## オフィシャルスポンサー

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。(40 歳代、女性) ほか4名
- ・ 楽しくボランティアができて非常に満足。(40 歳代、女性)
- ・ 不安もあったが、多くのボランティアの方と楽しく参加できた。(50 歳代、女性)

#### 充実感・達成感

- ・ 充実感、達成感を感じとることができた。(30 歳代、女性) ほか2名
- ・ 満足感を得られた。(30 歳代、女性)
- ・ とても大変だったが、やりきった感じ。(40 歳代、男性)

#### 貴重な経験

- ・ レースを間近で見られた。(40 歳代、男性)ほか3名
- ・ 初めての体験で視野が広がった。(20 歳代、男性) ほか2名

#### 元気をもらう

- ・ ランナーから元気や勇気をもらった。(20 歳代、女性) ほか7名
- ・ エネルギーをもらった。(20 歳代、男性)

#### 貢献

- ・ ランナーの役に立つことができた。(20 歳代、女性) ほか5名
- ・ ランナーを支えることができた。(20 歳代、男性) ほか1名

#### 協力・交流

- ・ チーム内のコミュニケーションが素晴らしかった。(40 歳代、女性)
- ・ 様々な部門の人と協力し、交流できたこと。(50 歳代、男性)
- ・ 初めての人とも協力しながら活動することができた。(30 歳代、女性)
- ・ メンバーと楽しく、安全に活動を終えることができた。(40 歳代、女性)

#### 感動・感謝

- ・ ランナーに感謝された。(40 歳代、男性) ほか3名
- ・ ランナーに感動した。(20 歳代、女性) ほか2名
- ・ ランナーに感謝されたことが嬉しかった。(50 歳代、女性) ほか2名

#### スタッフ・リーダー

- ・ リーダーのお陰で気持ちよく活動することができた。(40 歳代、女性) ほか 1 名
- ・ 手順の良いボランティアの進行だった。(40 歳代、女性)

#### その他

- ・ 初回から連続 10 回参加できた。(50 歳代、男性)
- ・ 神戸マラソンの魅力に気づけた。(20 歳代、女性)
- ・ 無事に活動を終えることができた。(30 歳代、男性)

### ● 不満足群

#### 給水・給食

- ・ 途中で水が間に合わなくなったのが少し残念。(50 歳代、女性)
- ・ 毎年大量に未開封の水が余るので、もう少し適量にするべき。(40 歳代、男性)

#### トイレ・ゴミ箱等

- ・ ゴミの回収場所を広く確保してほしい。(40 歳代、男性)

#### その他

- ・ 帽子があれば良かった。(50 歳代、男性)

## 8. 「ボランティア活動を終えての感想」(自由記述)

### 2) 再参加意図の理由

#### 団体ボランティア (個人)

##### ○ 参加したい

###### 楽しかった

- ・ 楽しかった。(40 歳代、男性) ほか1名

###### 充実感・達成感

- ・ 大きな問題もなく達成感を得ることができた。(20 歳代、男性)

###### 貴重な体験

- ・ 頑張っている人を近くで見られた。(20 歳代、女性)

###### 貢献

- ・ お役に立てたと思う。(60 歳代、男性)
- ・ ランナーをサポートしたい。(20 歳代、女性)
- ・ 神戸に貢献できた。(60 歳代、男性)

###### その他

- ・ マラソン大会に興味がある。(30 歳代、男性)

##### △わからない

###### 来年の予定

- ・ 都合による。(50 歳代、女性)

###### 別の用事

- ・ 就活で忙しい。(20 歳代、女性)
- ・ 来年から社会人として働くため。(20 歳代、女性)

###### 担当業務

- ・ 違うことがしてみたい。(10 歳代、男性)

###### 費用的問題

- ・ 交通費が高い。(10 歳代、女性)

## 団体ボランティア（高校）

### ○ 参加したい

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。（10 歳代、男性） ほか 3 名

#### 充実感・達成感

- ・ 達成感があった。（10 歳代、男性）
- ・ やりがいを感じた。（10 歳代、女性） ほか 1 名

#### 貴重な経験

- ・ いい経験になる。（10 歳代、女性）

#### 貢献

- ・ ランナーのサポートがしたい。（10 歳代、女性） ほか 1 名
- ・ 人の役にたちたい。（10 歳代、男性） ほか 1 名

#### 応援したい

- ・ 応援することの大切さがわかった。（10 歳代、男性）
- ・ いろいろな人と交流できた。（10 歳代、男性） ほか 3 名

#### その他

- ・ コロナのない神戸マラソンを見たいから。（10 歳代、女性）

### ● 参加したくない

#### 時間的問題

- ・ 時間が長い。（10 歳代、男性）

#### その他

- ・ 参加者に愚痴を言われた。（10 歳代、男性）
- ・ 感染したくない。（10 歳代、男性）
- ・ 自分には向いていない。（10 歳代、男性）
- ・ 次はランナーとして出たい。（10 歳代、男性）

## △わからない

### 来年の予定がわからない

- ・ 来年の予定による。(10 歳代、男性) ほか 2 名
- ・ 用事があるかもしれない。(10 歳代、男性)

### 別の用事

- ・ 就職で時間がないかもしれない。(10 歳代、女性)
- ・ 学年が上がって忙しくなる。(10 歳代、女性)

### 疲れた・寒い

- ・ しんどかった。(10 歳代、男性) ほか 4 名
- ・ 寒い。(10 歳代、男性)

### 時間的問題

- ・ 時間が長い。(10 歳代、男性)
- ・ 行き帰りに時間がかかる。(10 歳代、男性)

### その他

- ・ 考えがまとまっていない。(10 歳代、男性)



## 団体ボランティア（大学）

### ○ 参加したい

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。(20 歳代、女性) ほか 8 名
- ・ 思っていたより面白かった。(20 歳代、女性) ほか 3 名

#### 充実感・達成感

- ・ 充実した時間になった。(20 歳代、女性) ほか 2 名
- ・ やりがいがあり、達成感があった。(20 歳代、男性) ほか 3 名
- ・ 自分のやりたいことと一致している。(20 歳代、男性)
- ・ 満足した。(10 歳代、女性)
- ・ ランナーの人が楽しそうにしていたから。(20 歳代、女性)

#### 貴重な経験

- ・ 珍しい機会だった。(10 歳代、女性)
- ・ 知識を得ることができた。(20 歳代、男性)

#### 元気をもらう

- ・ ランナーを応援することで、自分も頑張る力をもらえた。(20 歳代、男性)
- ・ 頑張っている人の姿を見て、元気をもらえる。(20 歳代、女性)

#### 貢献

- ・ ランナーのサポートをしたい。(10 歳代、女性) ほか 2 名
- ・ 人の役に立ちたい。(20 歳代、女性) ほか 4 名
- ・ 地域に貢献したい。(20 歳代、男性) ほか 2 名
- ・ 海外ランナーのサポートがしたい。(20 歳代、男性)

#### 協力・交流

- ・ いろいろな人と交流できた。(20 歳代、女性)

#### 応援したい

- ・ 応援の楽しさを知った。(20 歳代、女性) ほか 1 名
- ・ 応援が好きだから。(10 歳代、女性)
- ・ またランナーを応援したい。(20 歳代、女性)

#### ボランティアへの興味

- ・ ボランティアに興味を湧いた。(10 歳代、女性)
- ・ ボランティアが好き。(20 歳代、女性)
- ・ 他の役割も体験したい。(20 歳代、男性)

### その他

- ・ 新しいチャレンジをしてみたい。(10 歳代、男性)
- ・ コミュニケーション能力を身につけたい。(20 歳代、女性)
- ・ スポーツに関わる活動がしたい。(20 歳代、女性)
- ・ 神戸が好きだから。(20 歳代、男性)

### ●参加したくない

#### 別の用事

- ・ 時間の都合がつかない。(20 歳代、男性)
- ・ 休日を潰さないといけないから。(20 歳代、女性)
- ・ 上からの指示が悪く、連携が取れていない。(10 歳代、女性)

#### 疲れた・寒い

- ・ 寒い。(10 歳代、女性) ほか1名

#### 時間的問題

- ・ 拘束時間が長く、授業に関係ない。(10 歳代、女性)

### △わからない

#### 来年の予定がわからない

- ・ 来年の予定がわからない。(20 歳代、女性) ほか10名
- ・ 予定が合えば参加したい。(10 歳代、男性) ほか5名

#### 別の用事

- ・ 就活がある。(20 歳代、女性) ほか1名
- ・ 来年は大学にいない。(20 歳代、女性) ほか1名

#### 担当業務

- ・ 別の仕事がしたい。(20 歳代、女性)
- ・ 業務の内容によって異なる。(10 歳代、女性)

#### 疲れた・寒い

- ・ 少し疲れた。(20 歳代、女性)
- ・ 寒い。(10 歳代、男性)

#### 費用的問題

- 交通費などの負担が大きい。(20 歳代、女性)

#### 時間的問題

- 寒くて長い。(10 歳代、男性)
- 待ち時間が長くて大変だった。(20 歳代、女性)

#### その他

- 学校からの依頼で参加したから。(20 歳代、男性)

## 団体ボランティア（一般）

### ○ 参加したい

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。（70 歳以上、女性） ほか 3 名
- ・ 最高だった。（50 歳代、男性）
- ・ ランナーを近くで応援できて楽しかった。（50 歳代、女性）

#### 充実感・達成感

- ・ 充実感がある。（60 歳代、女性）
- ・ 早朝より気持ちのいい行いができた。（60 歳代、女性）

#### 貴重な体験

- ・ いい経験になる。（50 歳代、男性） ほか 1 名

#### 元気をもらう

- ・ ランナーから元気をもらえる。（50 歳代、女性）
- ・ ランナーを見ていると楽しい気分になる。（70 歳以上、男性）

#### 貢献

- ・ ランナーの役に立ちたい。（20 歳代、女性） ほか 2 名
- ・ 地元の役に立ちたい。（60 歳代、男性） ほか 1 名
- ・ お手伝いしたい。（40 歳代、女性） ほか 1 名
- ・ 社会参加できる。（70 歳以上、女性）

#### 協力・交流

- ・ 様々な人と関われる。（10 歳代、男性）

#### 感動・感謝

- ・ ありがとうが嬉しい。（30 歳代、女性）

#### 恒例行事

- ・ 恒例。（50 歳代、女性）
- ・ いつも。（70 歳以上、男性）

#### 応援したい

- ・ 応援したい。（30 歳代、女性）

#### ボランティアへの興味

- ・ 裏方の仕事に興味がある。(10 歳代、男性) ほか1名

#### その他

- ・ 来年も是非開催してほしい。(30 歳代、女性)

### ● 参加したくない

#### 疲れた・寒い

- ・ 寒い。(20 歳代、男性)

#### その他

- ・ 年齢的に。(60 歳代、女性)

### △わからない

#### 別の用事

- ・ 仕事の予定が入るかもしれない。(50 歳代、男性)

#### 時間的問題

- ・ 朝が早い。(60 歳代、女性)

#### その他

- ・ サークルでボランティアを受諾すれば参加する。(50 歳代、女性)

## オフィシャルスポンサー

### ○ 参加したい

#### 楽しかった

- ・ 楽しかった。(60 歳代、男性)

#### 充実感・達成感

- ・ 今日の実験が自身の良い刺激になった。(20 歳代、女性)

#### 貢献

- ・ 社会の貢献になる。(30 歳代、男性) ほか1名
- ・ 地域社会の貢献、会社への貢献ができるため。(20 歳代、女性)

#### 協力・交流

- ・ 職場での団結力が高まる。(40 歳代、女性)
- ・ 応援したり、ランナーの方との交流が楽しかった。(20 歳代、女性)

#### 恒例行事

- ・ 年中行事のようになっている。(50 歳代、女性)

#### ボランティアへの興味

- ・ ボランティアに興味があるので、いろいろ参加したい。(50 歳代、女性)
- ・ 手順の良いボランティアの進行だった。(40 歳代、女性)

#### その他

- ・ 神戸マラソンの魅力に気づいた。(20 歳代、女性)

### ● 参加したくない

#### 時間的問題

- ・ 拘束時間が長い。(20 歳代、女性)

### △ わからない

#### 来年の予定がわからない

- ・ 自分のスケジュールとの都合が今はわからない。(50 歳代、女性) ほか2名
- ・ 関西に住んでいるかわからない。(30 歳代、男性)

## 8. 「ボランティア活動を終えての感想」(自由記述)

### 3) コロナ禍のボランティア参加に対する意見や感想

#### **団体ボランティア (個人)**

##### 問題なし・気にならない

- ・ 体調管理とマスク着用を徹底したら問題なし。(60 歳代、女性)
- ・ コロナ禍だが不安なく参加できた。(50 歳代、女性)

##### フェイスシールド・マスク

- ・ フェイスシールドが暑かった。(20 歳代、女性)

##### 消毒液

- ・ 消毒液をブースに置いてほしい。(50 歳代、女性)

## 団体ボランティア（高校）

### 問題なし・気にならない

- ・ しっかりと対策が取られているから心配なかった。（10 歳代、男性） ほか1名
- ・ 運動なのでいいと思う。（10 歳代、男性）

### フェイスシールド・マスク

- ・ フェイスシールドが暑くて邪魔だった。（10 歳代、男性）
- ・ フェイスシールドがしんどかった。（10 歳代、男性）

### 声なしの応援

- ・ 声を出して応援できないのが残念だった。（10 歳代、男性）

### やや不安

- ・ コロナが終わってからでもいいと思った。（10 歳代、男性）

### その他

- ・ 意外に楽しかった。（10 歳代、男性）



## **団体ボランティア（大学）**

### 問題なし・気にならない

- ・ 感染に関してはそれほど気にならなかった。（20 歳代、男性）
- ・ 余裕で大丈夫。（10 歳代、男性）
- ・ コロナ禍こそこのようなイベントが必要。（20 歳代、女性）

### 感染予防への配慮

- ・ しっかり対策がなされていると思った。（10 歳代、女性） ほか1名
- ・ ルールがきちんと守られていた。（10 歳代、女性）
- ・ 接触の仕方に規制をかけているのは良いと思った。（10 歳代、女性）

### 消毒液

- ・ 消毒液の数を増やしてほしい。（20 歳代、女性） ほか1名

### 声なしの応援

- ・ 声なし、タッチなしがさみしい。（10 歳代、女性）
- ・ マスクを着用していたし、離れているので声を出して応援しても良いと思った。（20 歳代、女性）

### その他

- ・ マスクや給水で注意すべきことが多く、もっと人手が必要。（20 歳代、女性）

## **団体ボランティア（一般）**

### 問題なし・気にならない

- ・ マスクをしていたらリスクは低いと思う。（70 歳以上、女性）
- ・ 防止対策をしていたら大丈夫。（70 歳以上、男性）
- ・ 気にせず楽しむ。（70 歳以上、男性）

### 感染予防への配慮

- ・ きちんと対策がなされていて良かった。（40 歳代、女性）
- ・ ボランティアの冊子にフィジカルディスタンスに注意するよう書かれていたので良かった。（70 歳以上、女性）
- ・ 予防に気をつけていた。（60 歳代、女性）
- ・ コロナ対策は必要であると思う。（70 歳以上、男性）

### フェイスシールド・マスク

- ・ フェイスシールドや手袋などいろいろ給水活動に制限があったので、もう少し自由ならば良かった。（60 歳代、男性）
- ・ マスクなしで参加したい。（40 歳代、男性）

### やや不安

- ・ インフォメーションで案内をしていたが、大変密になり少々心配だった。（70 歳以上、女性）
- ・ 来年も感染対策を続けてほしい。（40 歳代、男性）

### その他

- ・ 今年は参加できて良かった。（50 歳代、女性）

## オフィシャルスポンサー

### 問題なし・気にならない

- ・ 注意しながらやっていたので、問題なし。(50 歳代、男性)
- ・ 個々で感染対策をしているので、特に心配はなかった。(50 歳代、女性)
- ・ 全く気にせず参加した。(50 歳代、女性)
- ・ ボランティアをする前は少し心配だったが、終わってみたら取り越し苦労だった。(60 歳代、男性)

### 感染予防への配慮

- ・ しっかり対策されていたと思う。(50 歳代、女性) ほか1名
- ・ 事前に対策について説明があったので、特に不安に思わなかった。(30 歳代、女性)
- ・ 個人個人で気をつけることが大切。(40 歳代、女性)

### フェイスシールド・マスク

- ・ マスクとフェイスシールドと両方をつけていたが、どちらかだけでいいと思う。(50 歳代、女性) ほか5名
- ・ フェイスシールドは曇りや反射で作業がしにくい。マスクだけで十分。(40 歳代、女性) ほか4名
- ・ フェイスシールドの意味を感じない。(20 歳代、男性) ほか3名

### 声なしの応援

- ・ 拍手でしか応援できない点が物足りなく感じた。(40 歳代、女性) ほか2名
- ・ もっと声を出して応援したい。(40 歳代、男性) ほか1名
- ・ 屋外で、マスクとフェイスシールドをしていたので、ランナーへの声掛けはやらせてほしい。(50 歳代、男性)
- ・ 声を出せなかったのは残念だが、ペットボトルで鳴らすなど、できる範囲のことはやれた。(60 歳代、女性)

### やや不安

- ・ マスクを顎までずらし、フェイスシールドもされておらず、声を出している方がいて気になり不安に思った。(40 歳代、女性)

### その他

- ・ 使い捨て手袋がすぐに脱げてしまい、活動しにくかった。(50 歳代、女性)

『第 10 回神戸マラソン』  
ボランティアに関する調査報告書

(Research report on a study of volunteers at KOBE MARATHON 2022)

2023 年 1 月発行

編集 兵庫体育・スポーツ科学学会  
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト  
「第 10 回神戸マラソンボランティア調査グループ」

発行 神戸マラソン実行委員会事務局